

社会福祉法人 養徳園

# 令和5年度事業報告

児童養護施設 養徳園

児童家庭支援センターちゅうりっぷ

## 令和5年度事業報告（養徳園）

### 1 運営全般について

令和5年度事業計画に基づき、基本的な生活援助の充実や心理面に配慮した援助に努めたほか、養育のガイドラインの策定を目指し、生活の質の向上、生き立ちの整理と育ちアルバムの実践、性的問題・子ども暴力への対応、学習の充実、職業指導・リービングケア及びアフターケアの強化、施設養護におけるソーシャルワークの充実、里親委託の推進を重点目標として児童援助の向上に努めた。それに伴い、園内研修においてはグループリーダーを中心に研修の組み立てを行い主体的な研修となれるよう取り組んだ。

また給食、環境美化、安全管理、広報、運営改善並びに特別委員会として性教育委員会を設け職員の一致協力の下、施設運営にあたった。広報誌「オアシス」を年3回発行するとともに、ホームページ、ブログ「養徳園日記」を通じ情報の発信に努めた。

行事の運営については新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、従来の行事運営が戻ってきた。ユニット運営については、子どもたちの意向を踏まえユニットごとの行事を企画・実施、また全体としては外部の方をお招きしての「クリスマス会」や「感謝の日」等の行事を再開できた。子どもたちと実際に交流する行事が持てたことで、さらなる施設への理解を深めていただく機会を得られた。

### 2 児童の動向

#### (1) 学年別在籍数

令和5年4月1日現在（オアシスの家を含む）

	未就学児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男				1	3	2	3		3		3	5		2	22
女	1		3	2	2	1	1	1	1		3	3			18
計	1		3	3	5	3	4	1	4		6	8		2	40

令和6年4月1日現在（オアシスの家を含む）

	未就学児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男		1			1	3	1	4		3		1	5	1	23
女				4	2	2	2	1	1	1	2	1	2	1	17
計		1		4	3	5	3	5	1	4	2	2	7	2	39

(2) 月別入所者の状況(措置児童)(オアシスの家を含む)

月	性別	初日 在籍数	入所数	退所後				月末 在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職進学	その他	
4	男	22	1				1	22
	女	19			1			18
5	男	23						23
	女	18						18
6	男	23	1					23
	女	19	1		1			18
7	男	23						23
	女	18			1			17
8	男	23						23
	女	18						18
9	男	23		1				22
	女	18						18
10	男	22						22
	女	18						18
11	男	22						22
	女	18						18
12	男	22						22
	女	18						18
1	男	22					1	21
	女	18						18
2	男	21						21
	女	18						18
3	男	21		1				20
	女	18						18

(3) 一時保護委託・レスパイトケア利用状況

一時保護委託

年齢・学年・性別	児相	期間	年齢・学年・性別	児相	期間
高3男	県北	3/23~4/1	小5男	中央	9/12~10/16
小6男	県北	3/29~4/12	小4女	県北	9/14~10/23
小1女	中央	3/31~6/6	高2男	県北	10/26~11/15
3歳男	中央	3/31~6/21	小2女	中央	11/27~2/21

5歳男	県北	4/1~6/1	小6男	県北	11/30~2/21
中2女	県北	4/10~4/13	中3女	県北	1/5~3/1
中3女	中央	4/20~5/18	中2女	中央	1/18~1/22
中2女	中央	5/21~5/29	小3男	県北	1/25~3/28
中1女	中央	5/29~7/13	5歳男	中央	2/10~2/27
高1女	県北	6/2~12/25	中2女	県北	3/9~3/13
4歳男	県北	6/7~6/8	中1女	中央	3/12~3/15
高2女	中央	6/23~8/1	小4女	県北	3/15~
小3男	中央	6/27~2/29	小6男	県北	3/19~
中2女	県北	7/17~12/22	17歳男	中央	3/20~3/22
中2女	中央	8/2~8/23	小2女	県北	3/24~4/1
高2女	中央	8/31~9/5	小2女	県北	3/27~5/9
中3女	県北	9/6~11/24			

#### レスパイトケア

年齢・学年・性別	児相	期間	年齢・学年・性別	児相	期間
中2女	県北	5/18~5/22	小2女	県北	9/16~9/17
小2女	県北	5/26~5/27	小2女	県北	11/15~11/19
小2女	県北	6/10~6/11	中2女	県北	12/13~12/14
小2女	県北	7/8~7/9	中2男	県北	1/4~1/7
中2男	県北	8/3~8/7	小2女	県北	1/4~1/6
小2女	県北	8/21~8/22	小2男	県北	3/18
中2女	県北	9/7~9/10	小2男	県北	3/21

#### (4) 高校進学、卒園生の進路等

中学卒業生

令和5年度は卒業生なし

高校卒業生

令和5年度は卒業生なし

### 3 養護の状況

#### (1) 給食

- ・献立会議を給食委員会時に行った。前月献立表を回覧しそれについて話し合いをした。
- ・嗜好調査は年2回（夏、冬）に行い、調査内容をまとめた。子供の発達に必要な栄養バランス及び嗜好を考慮し食事を提供した。

- ・月に1回、調理場より手作りおやつを提供。調理場職員が各々考えたものを提供。
- ・夏休みクッキング体験を行った。工作的な体験と実験的な要素も入れたいと考え、パイ生地を使ったお菓子とクラフトコーラ体験を企画実行。夏休みの自由研究として提出した児童もいた。参加している子どもたちが作って楽しい、食べて楽しいような企画を令和6年度も実行したい。

## (2) 健康管理

### ・健康診断

嘱託医花塚医師による健康診断は前期対象者なし。後期は令和5年10月21日に実施した。

### ・予防接種 総数35回

日本脳炎 6回、二種混合 4回、子宮頸がんワクチン 3回、麻疹・風疹 2回  
インフルエンザ 19回、コロナ 1回

### ・健診 三歳児健診なし

### ・通院 総数 486回、うち処方あり 325件

○内科、小児科 152件

(花塚クリニック、黒須病院、おの子どもクリニック、小林医院など)

○外科 4件(獨協医科大学病院形成外科など)

○眼科 12件(早坂眼科、はやさか眼科)

○皮膚科 30件(檜山医院)

○整形外科 21件(半田クリニック)

○耳鼻咽喉科 12件(中川耳鼻咽喉科)

○歯科 91件(野澤歯科、和田矯正歯科)

○婦人科 9件(さくら産院)

○精神科、リハビリテーションセンターなど 155件

(なす療育園、岡本台病院、佐藤病院、つむぎクリニック、くろさきこどもクリニック)

### ・入院0件

### ・感染症に関して

今年度児童のインフルエンザ罹患22人、コロナウイルス罹患8人

## (3) 援助の実際(重点項目をテーマに園内研修を実施)

### ◎生活の質の向上

#### (1回目)

5月12日(金) PM12:00~

- ・研修の方向性について意見交換
- ・子どもの求める生活の質についてアンケートを行う。

- ・援助マニュアルの中で注目したい内容を各自抜粋する。
- ・福田施設長に「生活の質の向上」をテーマにした経緯を確認する。

#### (2回目)

6月20日(水) PM12:00~

- ・子どもからでた意見(アンケート結果)を共有する。
- ・着眼点をもとにディスカッションの内容を考える。  
(世代別、異職種ならではの意見を大切にする。)
- ・現場での共通理解を図るため、各グループリーダーへ「自分のユニットにおいて日々生活で大切にしていること」を考えてきてもらい研修当日発表を依頼する。

#### (3回目)

7月7日(金) PM13:30~

- ・当日をシュミレーションし、予行練習。

#### (研修当日流れ)

- ・研修のテーマ、着眼点について説明
- ・子どもたちが求める生活の質について発表
- ・ディスカッション 係全員
- ・ワーク「関わりからうまれた名言」を考える 全員
- ・グループリーダーより「自分のユニットにおいて日々生活で大切にしていること」を発表
- ・研修担当より(森 FSW) 講評
- ・園長総括

#### (反省)

今年度の研修は、ディスカッション形式を取り入れるという課題が設けられ、今までのグループワーク中心ではなく、どう進めたらよいか戸惑った。まずは、なぜ園内研修のテーマとして「生活の質の向上」が挙げられたのかを再確認し、伝える内容を明確にした。それを様々な職種、異なる経験年数の職員でどう共有したらよいかを考える機会となった。着眼点が明確に示されていたので、自分たちの伝えたいことがそこから逸れないよう内容を詰めることができた。

事前に行った話し合いでは、世代や職種を越えた意見交換ができ、養育に対しての視点の幅が広がった。

自分たちで研修内容を組み立てたことで達成感を感じられた。また研修内容に継続性を持たせたいと考えている。今回の研修内容の一部を次年度の研修でフィードバックすることで、効果的実践につなげていきたい。。

(薄井)

子どもたち自身が「生まれてきたよかった」と思えるよう日常生活を常に見直し、子どもたちと共に生活を作り上げていくことが生活の質の向上につながると思う。

ディスカッションの演技が難しい、棒読みになってしまった。

今回、子どもたちに「質の良い生活」ということで意見を聞いたが、今後も不満に思う事や要望に耳を傾け、子どもと大人の意見をすり合わせながら生活を成り立たせていければ、より一層生活の質の向上が目指せるのではないかと思う。

(人見)

研修までに何度か打ち合わせを行えたことで明確なイメージを持つことができました。

職員同士の考えや役職も違うのでディスカッションでそれぞれの思いや考えを話し合うことで職員同士のすり合わせが大事になると感じました。

グループワークでは、名言や各ユニットの信条を話し合い沢山意見が出てとても良い話し合いになったと思います。

手塚

他のテーマよりも身近なテーマだったとはいえ、改めて考えてみると何を主に置いて話し合ったら良いか分からなくなりました。

ただ事前の話し合いの度にいただいた資料などがあったのと間接処遇という立場で考えて良いということで、意見が言いやすくなったと思います。

早い段階で話し合いの日の予定を決めていただけたので、ディスカッションも活発に行えたかと思えますし、当日はアドリブなども交えながら進められたので終わってから達成感もありました。

(窪田)

研修では純粋に勉強になりました。職種や立場の違う職員と話せたことで多角的な意見が聞けたのが良かったです。

(定方)

### ◎職業指導、リービングケア及びアフターケアの強化

主な目的として、退所後の社会生活を想定して、生活に必要な知識及び経験を通しての技能の習得を支援する。(リービングケア)さらに、施設退所後の進学・就労を含む生活状況を見守り必要に応じた支援を行うことで、地域生活・職場への定着を図り社会的自立を促すこととした。

(アフターケア)

①具体的な取り組みとして、高校生はとちぎユースアフターケア事業協同組合主催の自立支援プログラムへの積極的な参加を促し、「職業適性セミナー」「性教育・自分を大切にすること」「コミュニケーションスキルについて」「法律教室」「料理教室」「冠婚葬祭・テーブルマナー」研修などを通して、卒園後の自立への意識向上のきっかけづくりを行った。

②またアフターケアとして、卒園生の生活相談を受け、具体的には離職にともなう再就職の支援・安心な住まいの確保など、とちぎユースアフター事業協同組合や自立援助ホームとの連携に

もちながら取り組んだ。

③さらに職員の支援意識向上のために「アフターケアについて」というテーマのもとに職員研修を行った。卒園生の方に園に居た時・園を出た後の思いを語っていただき、つながりの大切さを感じ取ることができた。卒園生の「より安定した生活」を願い自立支援への意識をもちながら丁寧に対応に当たっていきたい。

## ◎里親委託の推進

令和5年度里親支援専門相談員の活動状況

### ○委託及びふれあい里親

- ・長期休みのふれあい里親事業 各里親宅 11名利用
- ・里親委託に向けたマッチング 0件

### 里親会行事参加及び活動支援

- 県北地区里親サロン参加 毎月第4火曜（11月は土曜開催）  
県北地区ひよこサロン参加 奇数月第1金曜
- 県北地区里親向けペアレントプログラム参加 10月17日～全6回
- 県北地区里親会夏季レクリエーション参加 8月26日(土)
- 中央地区里親会里親研修会 3月10日(日) ZOOM参加
- 関東甲信越静里親大会への参加 オンライン 7月16日(日)
- 栃木県里親大会への参加 ニューサンピア栃木 11月12日(日)

### 里親研修、養育体験協力

- 里親全体研修への参加 パルティ研修室 2月10日(土)
- 里親登録前研修座学参加 8月5日(土)、8月19日(土)
- 里親登録前研修施設実習受け入れ
  - ・9月8日(金)～9日(土) 里親6名、児相職員1名  
内容：施設見学、講話、グループワーク、児童との交流
- 養育体験事業体験者受け入れ
  - ・11月5日(日) 里親2名(1組)

### ○里親応援会議出席

- ・4月19日(水) (KS) ・8月22日(火) (MA)

### ○里親来所支援

- ・9月9日(土) I里親 (NR)



## ○家庭訪問

- ・O里親 4月、5月、7月、9月、12月、2月
- ・E里親 5月、8月、12月、3月
- ・I里親 5月、2月、3月
- ・R里親 9月、10月、11月、12月、1月、2月

## 養徳園主催里親支援事業

### ① 里親の日

- ・6月3日(土) 養徳園 「食を一緒に考えよう」  
参加者：里親子11名、実習生1名 (計12名)

### ② 養徳園交流会(養徳園から里親委託となった子どもと里親の交流会)の開催

- ・4月23日(日) 太陽の丘キャンプ場  
参加者：里親子15名、施設職員等8名 (計23名)
- ・12月9日(土) みつばち笑店  
参加者：里親子13名、施設職員等8名 (計21名)

### ③ 里子のための「古民家宿泊体験」

- ・7月29日(土)～30日(日) 古民家みつばち笑店  
参加者：里子5名、施設職員等6名 (計11名)

### ④ 「里親施設交流会」の開催

- ・10月15日(日) 那須スポーツパーク「里親と施設職員の座談会」

## ※氏家養護園と共同

参加者：里親子60名、施設等児童46名、児相職員5名、TFC1名  
ボランティア12名、職員36名 (計160名)

## レスパイト受け入れ

○レスパイト受け入れ (延べ17名)

## ◎被虐待児への治療的アプローチ

児童相談所による面接は、それぞれの子どもの必要性に応じて、児相の心理職員が来園し本園にて面接が行われた。また、県北児相の被虐待児フォローアップ事業に4名(小4男児3名、小4女児1名)が月1回の割合で参加し、グループワークが行われた。

施設内の心理療法は、令和5年度も心理療法実施指定施設の認可を受け、17名の児童に対してプレイセラピー、面接(心理検査、入所アセスメント面接を含む)、生活場面面接等を実施しながら心理療法を行った。実施回数は以下のとおり。

心理療法 231回 生活場面面接 36回 コンサルテーション 96回

この他、直接子どもと関わらずに、児相、学校、病院等のカンファレンスや情報交換などに参加させてもらい、子どもに対して、共通の理解が得られるよう努めた。

## 成果と課題

対象児童にはできるだけ毎週1回の時間を確保するように努めた。また、今年度も里親委託になった子どもの里親への面接も継続的に行った。里親委託については、児童相談所と協議し、里親支援員とも連携しながらかかわるように努めた。また、個別の面接にこだわらず、外部の機関と子どもをつないだり、退所した子どもへの定期連絡など、子どものニーズにあったケアを心掛けた。

多職種が増え、子どもの直接ケアをする職員も充実し、多角的に子どもをみることができ一方で、子どもに対する姿勢やかかわり方のズレを会議の中で感じるようになった。まずは、それぞれの子どもを多角的に理解し、この子どもにどんなケアが必要かということ共有できるような、話し合いを重ねていけたらと思われる。

### (4) 社会教育への参加

#### ・野球教室

小学6年生2名、4年生1名、3年生1名が地域の野球（松のみフォックス）に参加。

#### ・卓球教室

小学生6年生2名参加

#### ・水泳教室

小学6年1名、4年生1名、2年生1名参加

### (5) 育成会活動

本園では、地域交流の一つとしてさくら市子ども会連合会に養徳園子ども会として小学生から高校生まで、またケアワーカーを中心に職員も加入して活動に参加している。

「野辺山の家」も、野辺山地区の子ども会に加入して活動に参加している。

### (6) 防災訓練

#### 活動内容

・年間防災訓練計画の作成、それに基づき各月に避難訓練及び消防訓練を行う。また、緊急連絡網（LINE）の作成、緊急時対応マニュアルの配布、各ユニットに避難経路等の確認を行う。さらに12月には喜連川消防署協力による総合消防訓練として、全児童・全職員による通報訓練・避難訓練、水消火器による実習訓練を行った。また消防自動車・救急車見学をして防災・怪我などの意識向上を図った。非常時用バッグ、非常時の備品、賞味期限など定期的に確認して万一の事態に備えている。

「AED」講習において実習し、万一の場面に備えての意識づけを行った。

## 成果・課題

・避難訓練は各月に実施。その訓練時には講話を行い、防災意識を高めるために、火の特徴・煙の怖さ・火事の原因などのイラストを見せたりクイズを出すなどして実施した。子どもたちも興味・関心をもって参加している。

・12月の総合消防訓練は、消防署員に協力いただき実施して、万一に備えての貴重な経験になった。またその際に、消防自動車・救急自動車を見学し、児童は興味をもって説明を受けていた。

・非常食の賞味期限を確認して、処分・不足分補充を行った。

・非常時防災バッグの中身のチェック、補充を行った。

・緊急連絡網について、LINE を利用してスムーズかつ正確に伝えるための方法を取り入れている。報告が迅速に伝えられるようになった。

## 4 委員会活動（別紙参照）

## 5 行事

種別	日時	行事名	場所（行先）	参加者数		
				児童	職員	その他
園内行事	4/5	ウォークラリーと花見	園庭、喜連川町内			
	4/30,5/3~5	BBQ&GW 外出（なのはな）	なのはな	6	5	
	5/13	GW おでかけ（野辺山の家）	みかも山	5	3	
	5/5	GW お出掛け（あすなろ）	ラウンドワン	6	3	
	5/4	GW お出掛け（福田ホーム）	ラウンドワン	4	3	
	5/5	GW おでかけ（たんぼぼ）	那須ハイランドパーク	6	4	
	5/28	すずらん外出	カラオケ、東宝シネマズ 那須ハイランドパーク	2 4	1 2	
	6/17	OBOG 会	ニューイタヤ		7	14
	7/2	七夕		38	40	2
	7/15	奉仕作業	養徳園	26	32	
	7/24	公文集中勉強会	研修室	19	2	
	7/25	給食委員会主催夏祭り	食堂	全児童	給食委員	
	7/31	一万人プール（すずらん）	一万人プール	4	3	
	7/30~7/31	新潟佐渡旅行（オアシス）	新潟・佐渡	5	3	
	8/4,7,9	夏休みおやつ作り体験	食堂	24	12	
	8/7	一万人プール（たんぼぼ）	一万人プール	6	4	
	8/9	一万人プール（なのはな）	一万人プール	4	2	
	8/10	野辺山育成会レク	TDL	5	4	
	8/14	すずらん自立イメージ合宿	すずらん	6	4	
	8/15	一万人プール（あすなろ）	一万人プール	4	1	
	8/21	日帰りバス旅行	TDS	29	21	
	8/23	一万人プール（オアシス）	一万人プール	4	2	
	8/24	巨人 vs ヤクルト観戦（あすなろ）	東京ドーム	6	4	

8/26	一万人プール（福田ホーム）	一万人プール	4	3	
9/30	文化祭作品見学	こども科学館			
10/11	七五三前撮り	スタジオアリス	2	3	3
10/15	里親交流会	那須スポーツパーク	25	19	104
11/11	七五三	御嶽山神社	2	4	4
11/26	創立記念日	生活指導室	全員	全員	
12/3	総合避難訓練・炊き出し	園庭	全	全員	
12/9	奉仕作業	養徳園	全	全員	
12/24	クリスマス会	各ユニット	全	全員	7
1/7	カレンダー製作と講評会		全		
2/11	感謝の会	養徳園	全員	全員	93
3/3	ひな祭り	養徳園			
3/25	児童送別会	指導室、食堂	全員	全員	

## 6 施設の社会化

### (1) 生活指導室の地域開放

### (2) ボランティア・招待事業の受け入れ

4/8,5/21,7/1,9/10,10/14,11/11,12/2,1/13,3/2

矢部昭仁様 髪カットボランティア

4/8,5/13,6/10,7/8,9/9,10/14,11/11,12/17,1/13,3/9

光と風の家様 読み聞かせ

5/13,5/28,7/1,7/8,7/22,8/6,9/2,10/1,10/28,11/25,1/13

島田 猛様 修繕

5/6,7 宇都宮プレックス様 試合観戦招待

5/28 栃木 SC 様 試合観戦招待

6/10,7/8,8/12,10/14,11/11,12/9,2/10,3/9

さくら市更生保護女性会様 夕食作りボランティア

7/16 東畑直希様 将棋教室

8/1~4 喜連川中央行政区様 夏休みの学習会

8/12 ウスイ産業様 マルサ産業様 ファイティングピアガーデン招待

8/10,23 公益社団法人「全国乗馬クラブ振興協会」様 乗馬体験

8/19 養泉寺様 きもだめし

8/27 辻修身様 ネイチャークラフト

10/28 西那須野ロータリークラブ様 那須どうぶつ王国招待

11/5 喜連川中央行政区様 地域世代間交流レク

11/9 RIKO Hear Design 様・御嶽山神社様 七五三

11/25 ツリーライミング栃木ランデブー実行委員会 代表 田中豊様・担当 矢吹様

		ツリークライミング
12/9	那須ワイズメンズクラブ様	クリスマス会招待
12/10	シャノワールクインテット様	音楽演奏
12/23	宇都宮ブレックス様	公式戦観戦招待
12/26	ウスイ産業様・栃木プロレス様	プロレス観戦招待
2/5	おすしで笑顔を届ける会様	お寿司食事
2/9	土屋利夫様・(株)ユタカ技研様	アルミ缶回収協力
2/17	森と家を結ぶ会様	園内修繕、手作り家具、工作教室

### (3) 感謝の日

4年ぶりに支援者及び地域の方々との交流の場として感謝の日が実施できた。

つるしびなの展示の時期に開催し、より養徳園をしつもらおうと、2月11日に開催。地域の方や支援者等90名が来園された。前回から間が空いてしまったため、招待状をお送りしたものの「感謝の日」を開催する意図が伝わり切らずにお問い合わせをいただくこともあったが、各ユニットごとに、ゲームや模擬店を開きお客様をおもてなしした。各ユニットとも、子どもと職員が協力し合い、とても良い会になったと思う。招待者の方々も、とても喜ばれ、満足して帰られたようだった。

#### ○各ユニット内容

たんぼぼ（玄関ホールにてお饅頭）、オアシス（すずらんユニットを使用してパフェ）

野辺山（たんぼぼユニットを利用してカフェ）、あすなろ（あすなろユニットにて甘味処）

なのはな（研修室にてゲーム）、すずらん・福田ホーム（食堂にてお食事処）

#### ○参加人数

招待者	93名	
子ども	36名	
職員	31名	計160名

## 7 施設見学・研修・実習生の受け入れ

### (1) 施設実習

(保育士)

〈県内〉宇都宮共和大2名、TBC4名、作新短大6名、佐野短大2名、宇都宮ビジ電2名、白鷺大2名、

小計 18名

〈県外〉東京家政大4名、聖徳大2名、東京未来大2名、埼玉純真短大2名、川口短大2名

小計 12名

(社会福祉士)

〈県内〉国際医療福祉大 2名

小計 2名

合計 44名

## 8 職員研修

### (1) 法人内研修

- ・リーダー研修（施設長、ユニットリーダー、グループリーダー、FSW、心理）  
7/19,9/20,11/15,1/17 は養徳園ケース、6/21,10/18,12/20,2/21 は氏家養護園ケースでケースカンファレンスを実施
- ・幅広い視野を持つための勉強会（5/10,6/2）
- ・アタッチメントとトラウマの理解（6/5,7/6）
- ・レジェンドとの座談会(12/21)
- ・権利擁護と養育の基本（9/12）
- ・中堅・若手が語る児童養護（1/18 古川、白鳥、福田、小林）

### (2) 園内研修

- ・5/22『性的問題及び子ども間暴力への対応』、6/22『学習指導について』、7/14『生活の質の向上』、9/22『アタッチメントとトラウマの理解』、10/21『里親委託の推進』、11/22『施設養護におけるソーシャルワーク機能の充実』、1/23『リービングケア、アフターケア』、2/22『生い立ちの整理』

### (3) 施設外研修

#### 施設外研修

日時	研修名	場所	参加者
4/15,16	Mytree プログラム実践者養成講座	Zoom	定方
4/23	気持ちのワークショップファシリテーター養成講座	Zoom	定方、永山
5/12	アンガーマネージメントキッズインストラクター講座	Zoom	定方
5/14	全国子どもアドボカシー協議会全国セミナー	埼玉県国立武蔵野学院	福田総合施設長
5/14,21,28	Mytree ジュニアプログラム	Zoom	定方
5/20,21	Mytree プログラム実践者養成講座	大阪府男女共同参画センター	定方

6/17,24	児童間性暴力“0”のためのロードマップ策定講習会	Zoom	安齋、寺澤、万年
6/27	フォスタリングチェンジプログラムコンサルテーションデイ	Zoom	永山
6/28~30	一時保護所・一時保護専用施設指導者研修	西日本子ども研修センターあかし	滝澤
6/30~7/20	児童家庭支援センター和見学	大分県児童家庭支援センター和	片桐
7/7	第58回児童養護施設研究協議会	TDK市ヶ谷カンファレンスセンター	加藤園長
7/16	第68回関東甲信越里親協議会	オンラインデマンド研修	永山
9/6	第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナー	栃木県総合文化センター	片桐、定方、永山
9/6~7	ファミリーソーシャルワーク研修会	中央福祉学院（ロフォス湘南）	滝澤
9/10	メグミルク出前講座	Zoom	金子、窪田
9/16,17	社会福祉士実習指導者講習会	Zoom	定方
10/4	野菜をもっと楽しみ、もっと健康に！	児童養護施設 きずな	窪田
10/12~14	第23回全国児童家庭支援センター協議会北海道大会	北海道 札幌ガーデンパレス	福田センター長 片桐
10/25	関東地区児童家庭支援センター協議会 SW研修会	静岡県みしまゆうゆうホール	片桐
10/28~29	第14回甘えと間主観性研究会学術集会 第14回子ども虐待をなくそう県民のつどい	作新学院大学清原ホール	片桐
11/6~8	第76回全国児童養護施設長研修協議会	神戸ポートピアホテル	加藤園長
11/18,19	社会福祉士実習指導者講習会	Zoom	滝澤
11/25~26	日本子ども虐待防止学会第29回学術大会	びわ湖大津プリンスホテル	片桐
12/1	第11回被措置児童の権利擁護・虐待根絶のための研修会	とちぎ青少年センター	永山、幸田、大内、高橋、平野、小林（祐）、石川、蕎麥田
12/15~20	社会的養護と担う児童福祉施設長研修会	オンライン研修	加藤園長
1/22	施設長及び幹部職員研修会	県庁	加藤園長、片桐、人見、菅原、福田美、寺澤
1/24~25	第3回事務・運営管理者研修会	アートホテル成田	加藤園長、鈴木紀
1/27	八策系全国実践交流会	千葉県佐倉市志津コミュニティーセンター	片桐、定方
3/1	里親養育包括支援機関人材養成プログラム	日本橋三井ホール	永山
3/8~10	第6回FLECフォーラム	早稲田大学国際会議場	片桐

栃養協研修事業

	日時	研修内容	場所	参加者
新任職員研修	5/22	・社会的養護の歴史と現状 講師：福田 雅章 氏 ・社会人としてのマナーとチームワークに貢献する仕事の進め方 講師：(株)ワークエントリー 小田林 皇江氏	とちぎ青少年センター	・幸田・大内・高橋 ・平野・小林(万) ・石川・蕎麥田
	9/21	・トラウマを抱える児童に対する支援について 講師：中山 和幸 氏 ・子どもの声を聴く(施設を退所した OBOG の体験談) OBOG4名 コーディネーター：福田 雅章 氏	とちぎ青少年センター	・石川・大内
	10/4~5	・令和5年度ケアワーカー部会主催「新任職員研修」	那須スポーツパーク	・幸田・大内・高橋 ・平野・小林(祐) ・石川・蕎麥田
	11/10	・トラウマを抱える児童に対する支援について 講師：中山 和幸 氏 ・施設と学校の連携について 講師：土屋 佳子 氏	オンライン	
若手職員研修	6/14	・「アドミッションケア・インケア」 講師：加藤 準一 氏 ・「障害者福祉の仕組みと事例検討」 講師：若倉 健 氏	とちぎ青少年センター	・白鳥・熊谷・重田 ・定方
	8/22	・「ペアレントトレーニングを活用した支援について」 講師：杉原 聡子 氏	とちぎ青少年センター	・白鳥・熊谷・重田 ・定方
	9/12	・「児童期・思春期の性に向かいあう」 講師：栃木さおり 氏 ・「ペアレントトレーニングを活用した児童とのかかわり方」 講師：杉原 聡子 氏	県庁9階会議室3	・白鳥・熊谷・重田 ・定方
	12/15	・「アタッチメントと子どもの発達について」 講師：小林 順子 氏	とちぎ青少年センター	・白鳥・熊谷・重田 ・定方
中堅職員研修	6/22	・社会的養護内容 リービングケア・アフターケア 講師：福田 雅章 氏 ・リーダーシップと組織のマネジメントについて 講師：野崎 千晶 氏	県庁研修館302号室	・窪田
	10/20	・新任職員を支えるための指導・教育(スーパーバイズ)の方法 講師：田中 浩之 氏	教育会館中会議室	・窪田



	11/17	・子ども間暴力防止・職員の共感疲労について ・事例検討 講師：藤岡 孝志 氏	総合文化センター第3 会議室	・窪田
上級職員・幹部職員合同研修	7/13	・今日の課題と将来像について 講師：福田 雅章 氏 ・施設の管理運営とマネジメントについて 講師：山田 勝美 氏	県庁昭和館多目的室3	・福田美・菅原 ・寺澤
	10/25	・関係機関連携について 講師：福田 雅章 氏 ・社会的養護における人材育成 講師：藤井 美徳 氏	とちぎ青少年センター	・福田美・菅原 ・寺澤
	1/20	・家族支援や里親支援、ソーシャルワークに関すること 講師：岩井 幸祐 氏 ・～つながる～「共有と共感から生まれるチームマネジメント」 講師：野崎 千晶 氏	とちぎ青少年センター	・饗庭
	11/16	第10回被措置児童虐待防止研修 ・社会的養護における高度な専門性を執拗とする知識や援助技術に関すること 講師：山田 勝美 氏	オンライン	・手塚・石井・相田・ 矢代・渡邊・小林 (尙)
施設長	5/9 8/24 11/21 3/28	・第1回施設長会議・栃養協総会 ・第2回施設長会議 ・第3回施設長会議 ・第4回施設長会議	県庁昭和館多目的室4 県庁昭和館多目的室1 とちぎ青少年センター 県庁昭和館多目的室4	加藤(準)/片桐 加藤(準)/片桐 加藤(準)/片桐 加藤(準)/片桐

(別紙)

## 令和5年度各委員会報告

### 《給食委員会》

実施月 記録	食育便り・行事 食 嗜好調査	畑の活用	行事 委員会活動実施日
4月 手塚	行事食→入学祝	・畑活用について話し合い ・除草 ・耕作 ・肥料(4/10)	ウォークラリー 花見4/5実施 委員会実施4/5
3月献立、その他について 活動計画			
5月 人見	行事食→柏餅	・耕作(4/10)(5/19) ・畝たて、マルチ張り(5/22) ・苗の手配(6/1 納品) ・苗植え(各ユニット)	委員会実施5/15
4月献立、その他について ・こどもの日			
6月 窪田	行事食→いわし (旬の食材)	・除草(各自)	委員会実施6/14
5月献立、その他について			
7月 金澤	行事食→ウナギ	・除草(各自) ・各ユニット夏野菜収穫	委員会活動7/12 夏祭り 7/25
6月献立、その他について ・七夕			
8月 船山	行事食→かまの ふたまんじゅう	・除草(各自) ・つる返し ・各ユニット夏野菜収穫	
7月献立、その他について			
9月 金子	行事食→おはぎ		委員会活動9/1.15
8月献立、その他について ・お月見			

10月 渡邊	行事食→だんご かぼちゃ料理	・さつまいも収穫（各ユニット） ・畑の片付け	
実施月 記録	食育便り、行事	畑の活用	行事
内容（提供元）	食・嗜好調査		委員会活動実施日
9月献立、その他について ・畑の収穫			委員会活動 安全委員会と合同 10/23
11月 饗庭	行事食→七五 三、創立記念日		委員会活動11/15
10月献立、その他について ・七五三			
12月 小林	行事食→年越し そば		総合避難訓練炊き出し 12/3
11月献立、その他について ・風邪予防、体を温める食事			
1月福田斎藤	行事食→七草が ゆ、鏡開き		
12月献立、その他について ・おせち			
2月 永山	行事食→しもつ かれ、恵方巻、 イワシ		委員会活動2/16
1月献立、その他について ・バレンタイン			
3月 矢代	行事食→ひなま つり、ぼたも ち、卒業祝い		

2月献立、その他について ・ひなまつり			
------------------------	--	--	--

### 【反省】

#### ○前期・後期にイベント開催計画予定について

- ・予定通り、前期に本園食堂を使用して夏祭りを開催した。内容としては、ポップコーンやアイス、焼きそばなど提供した。また、ゲームコーナーや園内で合唱を習っている児童の発表会も行い、とても盛り上がった。女の子たちは、浴衣を着せてもらい、夏の雰囲気を楽しむこともできた。
- ・後期に行う予定だったさつま芋パーティーは行わず、安全委員会主催の炊き出しに協力をした。実際の被災をイメージし、豚汁とおにぎりのみの提供とした。
- ・年度初めにしっかりと1年間の計画を立て、早め早めに動くべきだった。
- ・各ユニット毎に夏野菜栽培を行ったが、本園のベランダでは無理があった。
- ・畑の除草作業の時間がなかなか取れなかった。

### 【次年度に向けての検討事項】

- ・非常食を食べる経験があっても良いのではないか
- ・年々各ユニットの分散化が進み、本園北側の畑活用には改めて検討する必要がある
- ・献立表を回覧形式で回し良かったが、回りが悪く回す日程が決まっていた方が、スムーズではないか

## 《環境美化委員会》

### 環境美化の目的

日々の生活の中で、子ども達が「自分は大切にされている」という肯定感を育めるような調和のとれた心地良い住環境作り。

### 年間活動

- 倉庫の整理。花壇の除草。園庭、園周りの除草、清掃。
- 年2回の奉仕作業の計画、実施。

### 事業内容・反省

修繕 (豊岡)	定期点検(網戸・レール・戸・非常灯・壁等)を促し、毎月の職員会議にて各ユニット等から修繕箇所を申告してもらい、
------------	---

	業者に依頼。
花壇・園庭 ちゅうりっぷの修繕 (滝澤)	花壇の係だったが、ほとんど出来なかった。ちゅうりっぷのまわりの場所だとありがたいです。
衛生の日 (矢代)	ポスターの制作。子ども達への声掛け。ポスターを出せない月があったので、今後、そのようなことがないようにする。
草刈り (栗林・万年)	草刈り定期的に行えて良かった。草刈り班もエリアごとでやる人を決めるといいかも。一人で全範囲な時もあり結構大変(栗林)。 本園周辺の草刈り4回。各ユニットの草刈りは各ユニット環境美化が行う。草刈り機故障(2台)し、1台は修理。1台は買い替えとなる。(万年)
生活指導室 (相田)	ワックスがけが出来なかった。
1F廊下、下足室 (寺地・重田)	ワックスがけ、二人の勤務なかなか合わず、実施できませんでした。下駄箱の整理は出来ました。ワックスがけは来年はやりたいと思います。(重田) 下駄箱掃除は時間と子どもがいないときに3回やりました。ワックスは、子どもたちがいない時間を見つけるのが、困難でした。年に2回は全体でやれたらと思います。(寺地)
オアシスの修繕 (佐藤)	6、7、9月オアシス内草刈り。5、7、9月オアシス内除草剤散布。8、10月オアシス内草むしり。 4、11月オアシス花苗植え。5月野菜苗(トマト、ピーマン、ナス、バジル)植え。12月正月用寄せ植作り。年間通して計画書通り作業することが出来ました。 オアシスの修繕。4月粗大ごみの片付け。搬入や山羊小屋作り。トイレの詰まり対策。
野辺山の修繕 (小林)	草刈りは定期的に来た。部屋の片付け・不用品な物の処分が出来た。カーベットの買え替え、台所の床が傷む為、マットを敷いた。次年度やる事、カーテン洗い。廊下のワックスがけ。ホーローキッチンの戸の修理。
たんぽぽの修繕 (寺澤)	・プランターで野菜を育てた。(ミニトマト、バジル) ・壁紙直し ・不用品処分 ・花、あさがおを植えた。 ・ワックスがけ
すずらんの修繕 (重田)	・ベランダの掃除。不用品処分。ドアレールの修繕。

あすなろの修繕 (栗林)	ワックスがけ。トイレのドアの修繕。 個室ドアの修繕。
野沢ホームの修繕 (相田)	屋根のとよの詰まり直し
なのはなの修繕 (万年)	障子張り替え。ブラインドの撤去。庭、除草作業、除草剤散布行う。庭、花壇、整備、花、野菜などを植える。(しそ、ミニトマト、ナス、きゅうり) 不用品の処分。
段ボールの回収 (寺澤)	段ボールが集まったら、えがおの手塚さんに連絡を取り回収に来てもらった。今年度は、7回来てもらった。
ちゅうりっぷの修繕 (滝澤)	トイレトーパーホルダーの設置し直しと、子ども用手すりの設置。 洗面台下収納扉修繕。戸車修繕(おもちゃ部屋、宿直室、個室2部屋、布団部屋) キッチンカウンターとテーブルの角に保護クッションの張り付け。

#### 事業実施内容

4月	今年度の事業計画・衛生の日・清掃用具の購入・草刈り
5月	衛生の日・3連倉庫の掃除 5/20・除草剤散布①・草刈り・下駄箱清掃
6月	衛生の日・1F男子風呂掃除 6/20
7月	衛生の日・奉仕作業・草刈り・除草剤散布②
8月	衛生の日・階段下倉庫掃除
9月	衛生の日・草刈り 9/16・除草剤散布③・畑の草刈り
10月	衛生の日・布団部屋清掃 10/17・南廊下倉庫清掃 10/18・面接室前倉庫 10/20
11月	衛生の日・カンファレンス室掃除 11/4・正門の花壇、畑の三角コーナーの草取り、花壇の周りの草取り
12月	衛生の日・奉仕作業・自分の担当の場所の清掃
1月	衛生の日・1階男子風呂の清掃 1/23
2月	衛生の日・指導室の清掃 2/27
3月	衛生の日・今年度の反省

#### (反省)

- ・今年は朝の草取りをやめて、時間があるときに草取りをするようにした。朝、時間を取らなくても、草取りができ、きれいさを保てた。
- ・草刈り、除草剤散布も定期的に出来、きれいさを保てたと思う。
- ・今年度は、4月にモップやほうき、除草剤、じょーろ、草刈り用グローブを購入出来た。

・各倉庫の清掃の参加者が、決まってしまう。いつも参加している人と、参加できない人と。みんな公平に集まれるようにしたい。

・指導室に不用品を置かなくなったので、きれいなまま保てた。

## 《安全管理委員会》

### 1. 防災

・避難訓練：各月の担当について、職員会議において担当ユニット・個人名でお願いした方が良い

・各ユニットの非常備品について、チェックリストがあるとよい。また皆で集まったの点検の場面があるとよい。

・非常時備品について、今年で切れるものがあるので見落とさないようにする。

・防災用具の点検必要 発動機の点検（しばらく動かしていないため）

・倉庫の点検 清掃をしながら、確認・点検を行いたい。

・緊急連絡網の方法を再検討して、早く正確に伝えられるようにしていく。

具体的には、園の緊急時 LINE での情報伝達を行った。情報を流した後の集約を各ユニットにお願いした。

### 2. リスクマネジメント（事故防止対策の推進）

・ヒヤリハットファイルの様式を変更した。どんな内容が出てきたのか集計して職員に示すようにする。

・天災・人災等有事の際、安全委員会内でも緊急に動けるように体制を考えておく。

### 3. 自転車

・管理ファイルの作成が不十分であり、各ユニットでも対応してもらうようにする。

・点検・修理が不十分。（まめにチェックできるとよい）

ボランティアさんの活用

・古いもの、乗れないものを処分すること。

・通学用自転車の安全のための点検。把握を行うこと。

### 4. 公用車

・各車の点検を1ヶ月毎に行ったため安全点検がスムーズに出来た。

・洗車不十分。特に車内清掃ができていなかった車あり。

・使用した人のマナー向上の喚起。特に乗車後のゴミのチェック。

・各車にドライブレコーダーを設置してはどうか。

・各車の扱い方について、接触等の小さな事故でも必ず報告してもらうよう徹底する。

## 5. 遊具

- ・定期的にできていた。
- ・情報の共有不足あり。職員会議・朝と午後の打ち合わせ時に情報を提供して危険箇所等をお知らせする。
- ・園庭とのざわホームを分けるフェンスの支えポールが機能していない。

## 6. 不審者対策

- ・実施する必要がある。(今年度はコロナの影響もあり実施できず)
- ・警察に立ち会ってもらい、アドバイス・指摘等いただく方法も良い。

\* 日常的に委員会メンバーで情報交換をして、園全体の安全・安心について意識を持って役割を果たしていくことが大切。

## 《広報委員会》

### 1 主な活動内容

項目	内容	担当者
広報誌発行	5月、9月、1月の年3回の発行。氏家養護園、養徳園、記事を分担する。作成後、各種関係機関へ発送する。また、ホールと正門の掲示板にも掲示する。	委員会メンバー全員 (氏家養護園 大谷、竹石、後藤)
ホームページ	養徳園日記更新 求人動画作成	主に各ユニット職員 委員会メンバー
写真管理	写真フォルダ管理	委員会メンバー
カレンダー制作	次年度の手作りカレンダー制作の企画・作成	委員会メンバー
5月兜、クリスマスのデコレーション	5月と12月に玄関ホールに飾る	委員会メンバー
スケジュールの記入、掲示物張り出し	月のスケジュールを職員室ホワイトボードに記入。	加藤園長

### 2 活動記録

第一回 (R5.4.14) 法人内顔合せ後、氏家養護園と合同



### ① メンバー自己紹介

氏家養護園メンバー：大谷、竹石、後藤

養徳園メンバー：薄井、菅原、栗林、松本、石井、郡司、白鳥、幸田、定方、鈴木紀、石川、大内、小林摩

### ② 広報誌作成から発送までの確認

### ③ 広報誌企画書 (77号~79号)

- ・養護園の表記は全て「氏家養護園」とする。
- ・表紙のあいさつ文 (4月福田総合施設長 9月加藤園長 1月片桐副センター長)
- ・原稿の背景は今年度も養徳園で担当する。ただしユニット紹介のページはそれぞれの施設で担当する。
- ・ドロップボックスの設定は今年度も本園職員室、氏家養護園の2カ所にする。
- ・春号には寄付の用紙を入れるので、あいさつ文にその旨一言入れること。
- ・委員の人数が多いので役割を大きく3つに分けた。

(広報誌作成…松本、石井、白鳥、鈴木、石川、定方、薄井 養徳園日記管理…栗林、大内、幸田

写真データ管理…菅原、郡司 カレンダー制作…定方、小林)

### ●各自広報誌 77号の分担された原稿作成と校正作業 (R5.5月)

<77号>

表紙、福田総合施設長インタビュー：定方、成人式・招待事業：石川、新一年生抱負：石井、新任職員挨拶：白鳥、ユニット紹介ページ：松本、入所状況・寄付一覧：鈴木、年間行事：薄井、

### 第二回 (R5.5.19)

- 広報誌 77号の発送作業 (研修室にて)
- 求人動画制作 (制作会社ビジュアル 打ち合わせ～撮影～校正)

### ●各自広報誌 78号の分担された原稿作成と校正作業 (R5.7月)

<78号>

表紙、加藤園長インタビュー：定方、ボランティア・招待事業：松本、児家セン活動紹介：定方、ユニット紹介ページ：白鳥、入所状況、寄付一覧：鈴木、お知らせ (理事長就任)：薄井

### 第三回 (R5.9.20)

- 広報誌 78号の発送作業

#### 第四回 (R5.11.1)

##### <上半期反省>

##### 養徳園日記について

- ・なかなか月2件、投稿することが出来ず1件止まりになってしまった。月の後半になって慌てて投稿となってしまうことが多かったのでその都度あげることを意識していきたいです。
- ・ボランティア記事アップ、参加していない時抜けてしまう。
- ・月2回記事にすることがない。あげれるよう他の人に聞いてみる。
- ・忘れてしまいがち。
- ・アップ作業手伝えるので頼んでください。(鈴木紀)

##### 広報誌発行について

- ・前年度のデータを参考に作業が出来た。
- ・原稿作りで文章量が多い時、苦戦した。
- ・作業データの取り扱いについて説明。  
⇒作業中のフォルダ内のデータを必ず使用する事。

##### その他について

- ・写真のデータ整理がはかどらない。
- ⇒外出しユニット分はUSB購入し、コピーし2階職員室に保管する。
- ・カレンダーの貼り換えが毎月1日に行っていますが、勤務じゃない時にご協力お願いします。

・カレンダー制作の確認今年度も1月は職員の格言カレンダーにする。昨年に引き続き、シンプルに令和6年1月~12月を作る

##### <分担>

1月 職員の格言	2月 たんぽぽ	3月 広報委員
4月 あすなろ	5月なのはな	6月 福田ホーム
7月 職員の格言	8月 野辺山の家	9月 オアシス
10月 ちゅうりっぷ	11月 お炊事と間接職員	12月 すずらん

#### ●各自広報誌79号の分担された原稿作成と校正作業 (R5.12月)

##### <79号>

表紙、片桐副センター長インタビュー：薄井、七五三：石井、ボランティア・招待事業：薄井、創立記念：松本、里親支援活動紹介：白鳥、ユニット紹介ページ：石川、児家セン活動紹介：定方、入所状況・寄付一覧：鈴木

## 第五回 (R6.1.11)

### ●広報誌 79 号の発送作業

- ・つるし雛お知らせのチラシ同封

## 第六回 (R6.2.22)

### <下半期反省>

#### 広報誌、その他について

- ・原稿についてユニット内での情報共有が上手く行かなかった為、期限遅れる事もあった。ユニット内で情報の共有を図りたい。
- ・打ち込み作業を担当したが、印刷手配などの引継ぎに協力できなかった。外出しユニットということに甘えてしまった。
- ・児家センの仕事や役割の内容を記事に取り上げていただいたことで内外の人に知ってもらう機会になった。
- ・カレンダー製作では、子どもたちが制作に関わり他の作品を楽しみにしていることに気付けた。
- ・写真のデータ管理で外出しは各ユニットでまとめるとしたが、以前のデータや各個人の持っているデータを回収するのに時間の確保が難しかった。皆さんの知恵をいただきたい。

#### 養徳園日記について

- ・ボランティア関係の記事アップについて行事に参加していない時が、なかなかできなかった。
- ・4月から集計し、職員会議でアップしていたがユニットでバラつきがあった。ボランティア関係の記事は情報の共有が難しかった。
- ・月末に焦ってアップするのでタイムリーな記事じゃなかった。
- ・月の中でアップする日を設定すると良いのではないか。目標になるのではないか？
- ・日記にあげられるようなネタが見つからなかった。ユニット内の職員に提供してもらう。
- ・あげて良いないようか判断がつかなかった。写真が無くても文字だけの記事をあげれば良かった。
- ・上半期の反省を活かし、月2件あげる事ができた。ネタに困ることもある。
- ・ユニット内の職員に協力を得られた。
- ・提出期限ぎりぎりになってしまう事が多々ありご迷惑をかけてしまった。(氏家養護園)

### <次年度へ申し送り>

- ・広報誌の記事について、支援者のお蔭で行えた行事の記事にしてはどうか？  
(子どもに還元されている事が伝わるような)
- ・ユニット紹介のページでディズニーランドのようなお出かけも良いのではないか？
- ・外出しユニットの写真管理で USB を購入したい。
- ・養徳園日記のアップ日を 15 日、25 日に設定する。もちろん日にちに関わらずタイムリーな記事アップも引き続き行う。

## 《性教育委員会》

4月 全職員対象に「職員チェックリスト」の実施

4月26日 児童間性暴力“0”のためのロードマップ策定報告会に参加

5月 各ユニットに性教育絵本10冊回覧開始～

5月 全児童を対象に「全児童調査」を実施

野辺山ユニットにて性加害・被害が発覚。担当から性教育実施。

5月15日(月) 性教育委員会園内研修にむけて打合せ

5月22日(月) 性教育委員会園内研修にむけて打合せ

5月22日(月) 性教育委員会で園内研修「」を実施

6月17日(土) 児童間性暴力“0”のためのロードマップ策定講習会に参加(万年、安齋)

6月24日(土) 児童間性暴力“0”のためのロードマップ策定講習会に参加(寺澤、安齋)

8月18日(金) 遠藤先生来園、性教育委員会にて打合せ

今年の新人研修にて遠藤先生より講義をしていただくこととなる。

9月29日(金) 性教育委員会打合せ、1～3年目対象の新任研修で使用するために、「施設内であいまいな境界線に感じる部分」や「境界線について困っていること」についてのアンケートを実施

10月6日(金) アンケートを回収し整理する

10月19日(水) 新人研修にて遠藤先生にて講義

11月1日(水) 職員に向けて「女性のからだ、生理、ピル」のお話

11月1日(水)～11月15日(水) 全職員対象に境界線のアンケートを実施

12月1日 職員向けに性教育「男の子のからだ」のお話

12月1日(金)～12月7日(木) 全児童を対象に「全児童調査」を実施

12月13日 「全児童調査」の結果をもとに打合せ

12月19日(火) ZOOMにて遠藤先生よりKJ法でアンケート結果の分離の仕方を学び実践

12月21日(木) 施設処遇援助事業【性教育担当者養成研修】参加(寺澤、金澤、万年)

12月25日 性教育委員会でアンケート結果の分類分けを完成させる

12月27日(木)職員向けに性教育「男の子の射精」のお話

1月31日 職員向けに「性的同意」についてお話

2月1日(木)施設処遇援助事業【性教育担当者養成研修】参加(万年、安齋)

2月14日遠藤先生来園 境界線ワークについて会議

## 令和5年度 地域小規模児童養護施設「オアシスの家」事業報告

平成19年11月1日(土)開所

### 子どものメンバー

令和5年4月1日～令和6年3月31日 6名  
小学5年男児 1名  
小学6年男児 1名  
中学2年男児 1名  
高校2年男児 1名  
高校2年男児 1名  
高校3年女児 1名

### 職員 4名

人見(♀保育士)  
松本(♂保育士)  
重田(♂保育士)  
佐藤(♀非常勤)

### 通学状況

喜連川小学校  
喜連川中学校  
作新学院高等学校  
烏山高等学校  
宇都宮高等学校通信制

### 行事報告

8月新潟佐渡島一泊旅行

### 定期通院状況

小学5年男児 毎月一回 くろさき子供クリニック 受診  
小学6年男児 2カ月に一回 済生会 受診

### 生活状況

新年度、本園より小学5年男児が入る。

1年を通して小さいトラブルが多々見られていたものの、職員に不満を話したり年上児の成長もあり、大きく反応しないで受け流す様子も見られてきた。

小学5年男児は、登校班で副班長だったが、班内でのトラブルが何度かあり職員が付いて行くことがあった。

小学6年男児はR5年3月28日に再入所(以前の在籍時は野沢ホーム所属)。小学2年時以来の喜連川小学校で以前からの友達もいたため、すぐに馴染めていた。サッカークラブに参加したり、駅伝選手に選ばれるなど、精力的に活動する姿が見られた。

中2男児は、さくら市のアメリカ派遣に選ばれ、アメリカロサンゼルスにホームステイに行った。学校では生徒会長を務め、また英検3級に合格するなど自信に結び付く出来事がたくさんあったが、家庭学習になかなか取り組めず、順位が下がってきている。

高2女兒は、本年度より全日制から通信制の高校に変更し通学し始めるが、途中から登校できなくなり、年度途中から休学することを選択。現在は自室にて自力で学習している。高認試験を受験し合格する。

#### 今後の課題

4月当初、子ども2名、職員2名が変更となり落ち着かない様子もあったが、徐々に生活も安定してきている。しかし、時折小さなことでのトラブルが見られている。年上の子たちが受け流せるようになってはいるが、それでも不満がたまっているのも、そこをうまく解消できるように繰り返し話をしていき、一人一人が安心して生活できる環境を整えていきたい。

6人が中々揃う事が少ないので、みんなが合う時間を大切にしていきたい。

## 令和5年度 児童家庭支援センターちゅうりっぷ活動報告

児童家庭支援センターちゅうりっぷ

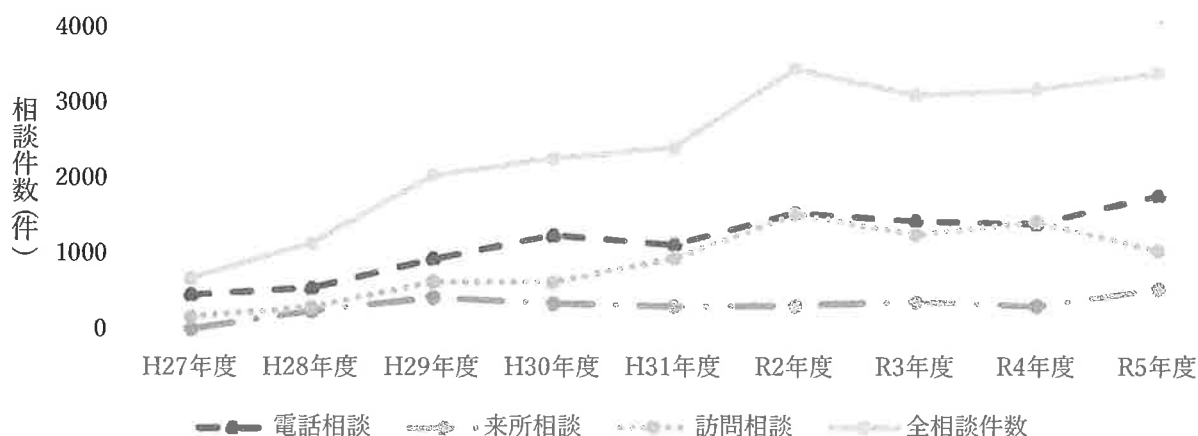
【相談件数、一時預かり件数等について】

○令和5年度は昨年度と比べ、電話相談が1787件で126%伸び、全相談件数3410件も昨年度の107%（同、3198件）と微増している。来所相談は556件で昨年度の167%（同、333件）、訪問相談は1065件で74%（同、1446件）である。

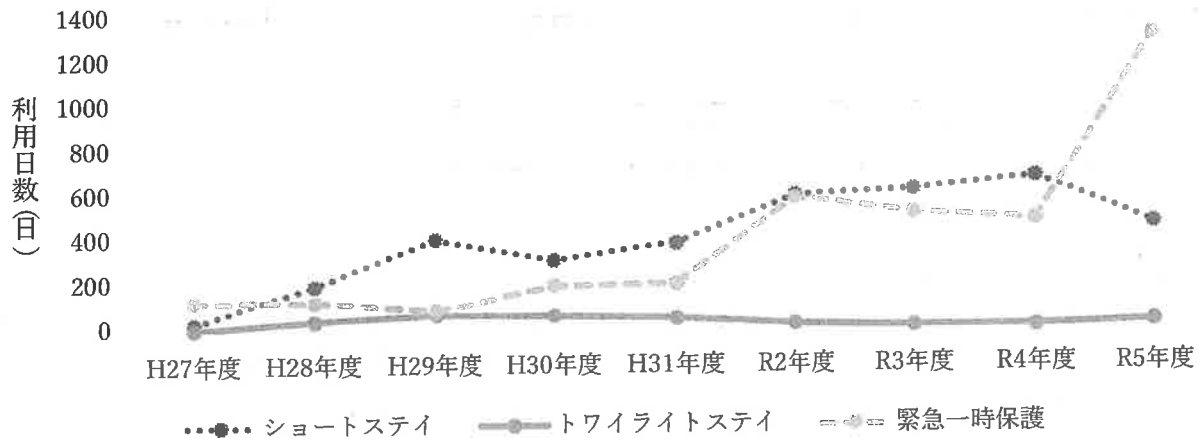
○ショートステイと緊急一時保護委託の件数について、令和5年度より一時保護専用施設を開始し、一時保護の定員を4名とした。緊急一時保護の利用延べ日数はR5年度1307日と昨年の271%（同、482日）と大幅に増えた。ショートステイはR5年度463日と昨年の69%（同、671日）と減った。年度途中で職員体制が安定せず、一時保護や土日対応へ注力し、その分ショートステイの受け入れを制限していたことが大きな理由の一つである。また昨年度と同様、一時預かりの申し込み状況について、ショートステイの事前予約日となる月始めは、予約できるほぼすべての日が埋まってしまう。他日ではキャンセル待ちになるか、申込できない状況もあった。市町からの申し込みを前提にしており、毎月利用するショートステイの子どもが多く、新規ケースや緊急のケース（ショートステイ、緊急一時保護も同様）に対応しきれない状況となっている。

○緊急一時保護委託は長期にあずかる子が増えている。（一時保護8か月のケース。）長期で預かる子どもの含め、保育園、学校等に、朝夕の送迎をするケースが多く、職員総出で対応していた。

各年度の相談件数



## 一時預かり実績



	R3 年度	R4 年度	R5 年度
ショートステイ	217 件 615 日 (実数 44 人)	233 件 671 日 (実数 32 人)	200 件 463 日 (実数 50 人)
トワイライトステイ	6 件 6 日 (実数 5 人)	4 件 4 日 (実数 2 人)	23 件 23 日 (実数 8 人)
緊急一時保護委託	18 件 513 日 (実数 18 人)	18 件 482 日 (実数 14 人)	23 件 1,307 日 (実数 22 人)
入所	3 件 36 日 (実数 2 人)	0 件 0 日 (実数 0 人)	1 件 30 日 (実数 1 人)
里親レスパイト	—	2 件 17 日 (実数 1 人)	7 件 30 日 (実数 3 人)
子育て短期支援事業契約市町	ショート 8 市 8 町 (新規・鹿沼市) トワイライト 2 市 3 町	ショート 9 市 8 町 (新規・那須烏山市) トワイライト 2 市 4 町 (新規・高根沢町)	ショート 9 市 8 町 トワイライト 2 市 4 町
さくら市援助方針会議への出席	19 回	19 回	15 回
塩谷町援助方針会議への出席	—	—	3 回
要対協への参加	7 市町	8 市町 (新規・那須烏山市)	8 市町
個別ケース検討会議への参加	30 回	20 回	9 回
指導委託	599 件 (実数 7 人)	648 件 (実数 8 人)	334 件 (実数 6 人)
電話相談	163 ケース 1454 件	181 ケース 1416 件	248 ケース 1787 件



来所相談	389 件	333 件	556 件
訪問相談	1276 件	1446 件	1065 件
全相談件数	3122 件	3198 件	3410 件

※子育て短期支援事業、緊急一時保護委託、入所、里親レスパイトによる実稼働日数

R4 年度 343 日 (94.0%) → R5 年度 366 日 (100%)

#### 【指導委託について】

○R5 年度、のべ 6 名の指導委託を受ける。(中央児相 3 名、県南児相 1 名、県北児相 2 名) 334 件の相談だった。月 1~2 回の保護者への家庭訪問、保育園・幼稚園、学校等の訪問、本児への面接を継続する。システムズアプローチ、サインズオブセーフティアプローチを利用し、保護者と支援の方向性を確認する。市町主催の要対協個別ケース検討会議を定期的に行う。定期的な開催をいただき、情報共有と支援の方向性を検討する。

○施設入所までは至らない、または施設退所後の在宅ケースであり、保護者自身の変容や、家庭環境・親子関係の改善が短期間で見込めない家庭に対し、きめ細やかな対応(必要なら家庭訪問、関係機関の情報共有など)を行う。子育てに関する困り感(または無関心)に対して、保護者の頑張りを応援しながら関係性を作りつつ、具体的な子どもへのかかわり方を提案する。終結は親子の関係改善、子どもの課題が解決するなど、既存のまたは新たに加わった社会資源が本家庭をサポートし、保護者の困り感がなくなるのが目標である。

#### 【虐待予防活動、地域支援について】

○さくら市要保護対象児童等見守り強化事業をさくら市、民生児童委員、SAKUTOMO と行った。家庭への相談とともに養徳園の炊事場で作った弁当を週 1 回、民生児童委員に家庭まで配達していただいた。そのほか月 1 回、中学生に勉強を教えに家庭訪問をし、子どもや保護者の見守りを行った。R5 年度はさくら市内 2 世帯の父子家庭に実施した。

○弁当配食プログラム(R5 年 5 月~R6 年 3 月)は、日本財団様より助成金をいただき、高根沢町、那珂川町の各児童福祉担当課が把握するヤングケアラー、ネグレクト家庭 3 世帯に世帯全員の弁当を配達した。配達員である民生委員やボランティアが玄関で弁当を渡す中で、関係性を築き、困りごとや支援のきっかけになる活動を行う。市町への情報提供や虐待予防に資する活動につながればと考えている。

○同じく日本財団様からの協力を得て、ヤングケアラー支援研究事業(正式名称「児家センによるヤングケアラー支援の実施および検証事業」)に参加した。主催は全国児童家庭支援センター協議会で R5 年度は 3 回オンライン開催された。

○さくら市子育て短期支援事業里親研修相談等業務委託契約を行い、さくら市におけるショートステイ里親の取り組みを推進している。R6 年 2 月 24 日伊藤徳馬氏(茅ヶ崎市役所)による講演会(於:さくら市氏家公民館)では非暴力コミュニケーションの実践のほか、里親制度、ショー

トステイ里親の紹介を行った。

○さくら市生涯学習課主催、さくら市立喜連川小の就学時健診にて新1年生保護者を対象に非暴力コミュニケーション（さくさく・ペアトレ）を行った。ちゅうりっぷスタッフが主任児童委員の協力を得て、アイスブレイク、子どもへの関わり方を練習した。

○さくら市援助方針会議に15回出席し、実務者会議前のケースのアセスメント、支援の方向性を市と検討した。

○R5年度MYTREEペアレンツ・プログラムは実施予定だったが、父親希望者が想定人数に達し

なかったため中止となった。

#### 【児童家庭支援センターちゅうりっぷの今後について】

○保護者と子どもが地域で安心して生活できるよう、緊急一時保護やショートステイ、里親レスパイト等の一時預かりといった施設機能と在宅支援を合わせ持つソーシャルワークを関係機関と協働で実施する。また県内の児家センはにこにこ広場とともに2か所であり、R6年4月施行の児福法によれば、地域資源の開発にあたり、さらに児家センや社会的養育施設の地域展開が望まれる。まずはにこにこ広場との情報共有と今後の県内での可能性を話し合う。

○R6年度さくら市要保護児童等見守り強化事業を行うにあたり、さくら市内のネグレクト、ヤングケアラー家庭等に相談支援を行うとともに、弁当配達、学習支援、遊びの提供、家事支援といった直接的な支援をセットに行う。協力団体に主任児童委員、民生児童委員、さくら市地域共生センター（SAKUTOMO）を予定している。

○里親ショートステイのような子どもの一時的に預ける社会資源を増やすよう努める。またさくら市内の子ども、保護者が安心して生活できるよう近隣の身近な支援者を広く募り、ゆるい子育て支援ネットワークを作っていく。里親への協力・広報、弁当配達ボランティア、身近な近所の子育て協力パートナーのようなつながりを考えている。

○MYTREE父親プログラムをR6年秋よりとちぎ男女共同参画センター（パーティ）で行う。  
※MYTREE父親プログラムはR3年秋に大阪で初めて行われた。

○アンガーマネジメントキッズプログラム講座を行う。怒りと上手に付き合い、適切に表現する方法をワークショップで学ぶ。

○自宅以外で、地域の中に安心して過ごせる子どもの居場所を作る支援（さくら市南小学童保育センターでの子ども食堂など）やヤングケアラー、生活困窮世帯へ食事を届けながら組み立てる支援を検討する。

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人 養徳園

氏家養護園

## 1. 運営全般について

6月に施設長の交代があったが、職員連携の下、施設運営は滞りなく行うことができた。令和5年度の退職者は1名だけにとどまり、運営の継続性が担保されたことは今後の運営にプラスに作用すると思われる。

分園が一つ増え各グループ最大6名のケア単位となり、子どもの自己領域が確保できるようになったことで、子ども間のトラブルが減った。

8月から12月にかけて第三者評価を受審し、自己評価を厳しく行うことで施設運営に関する改善点を明らかにすることができた。

地域子育て支援については、11月に子ども食堂を本園食堂にて再開することができた。学保育センターで実施していた時と比べ利用者は減ったものの、幼児や中学生の利用など利用者の幅が増えるとともに、利用する家族の背景も知ることができた。また、ショートステイや緊急の一時保護も出来得る限り受け入れ、地域や社会の要請に応えることができた。

## 2. 児童の動向

### (1) 学年別在籍数（措置児童）

令和5年4月1日現在

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	0	0	3	1	6	0	0	1	1	2	3	0	5	0	22
女	1	1	1	0	3	1	0	1	0	2	1	0	2	0	13
計	1	1	4	1	9	1	0	2	1	4	4	0	7	0	35

令和6年4月1日現在

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	2	0	0	2	4	3	0	0	2	1	3	2	0	0	19
女	1	0	2	1	0	4	1	1	1	1	2	0	1	1	16
計	3	0	2	3	4	7	1	1	3	2	5	2	1	1	35

### (2) 月別入退所状況

月	性別	初日 在籍数	入所数	退 所 数			その他	月末 在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職・自立		
4	男	22						35
	女	13						
5	男	22						35
	女	13						
6	男	22						35

	女	1 3						
7	男	2 2						3 6
	女	1 4	1					
8	男	2 2						3 6
	女	1 4						
9	男	2 2						3 5
	女	1 4					一時保護	
10	男	2 2	2		1			3 6
	女	1 3						
11	男	2 3						3 6
	女	1 3						
12	男	2 3						3 6
	女	1 3						
13	男	2 3						3 7
	女	1 4	1					
24	男	2 4	1					3 8
	女	1 4						
35	男	2 4		1	1	5		2 9
	女	1 4				1		

(3) 委託一時状況

学年・性別	児相	保護の期間及び理由	
中1・女兒	県北児相	7/4～8/31	内縁の夫からの性的虐待
中2・男児	中央児相	8/9～8/14	親子間のトラブル・養育環境調整
中1・男児	県北児相	8/23～8/24	実母・祖父からの身体的虐待
4歳・男児	中央児相	9/11～9/27	曾祖母からの身体的虐待・ 実母のマルトリートメント
大学2年・女兒	中央児相	9/16～10/11	親子間のトラブル
小3・男児	県北児相	9/29～10/1	実母からの身体的・心理的虐待
3歳・男児	中央児相	9/29～10/1	実母の養育能力不足・家庭養育困難
小3・男児	県北児相	10/27～11/21	養父からの身体的虐待・ネグレクト
中1・女兒	中央児相	10/27～12/12	本児の問題行動・親子間のトラブル
小5・男児	県北児相	12/2～3/6	本児の家庭内暴力
中2・女兒	県北児相	12/21～1/1	養父からの性的虐待
小3・男児	県北児相	3/28～4/1	実父・兄からの身体的虐待・ネグレクト

小4男児・小6女児	中央児相	3/29～4/1 ト	実母精神不安定・養育困難・ネグレクト
中2・男児	中央児相	3/29～4/1	本児の家庭内暴力・問題行動
小1・女児	中央児相	3/28～4/1	実母のネグレクト
5歳・男児	中央児相	1/29～1/31	実母のネグレクト
中3・男児	県北児相	4/1～4/12	祖母養育困難
高2・女児	県北児相	6/19～7/1	本児の問題行動・祖母養育困難
高1・女児	県北児相	9/26～9/31	本児の問題行動・養育困難

(4) トワイライト及びショートステイ状況

月	年齢・性別	延日数	10月	なし	
4月	12歳女児 9歳男児	3日	11月	6歳男児・3歳女児	3日
5月	なし		12月	12歳女児 9歳男児	5日
6月	なし		1月	6歳男児・3歳女児 小5男児・小3男児	10日
7月	なし		2月	10歳男児・8歳男児・7歳男児 6歳男児・3歳女児	12日
8月	6歳女児・5歳男児 9歳男児・5歳女児	6日	3月	6歳男児・3歳女児 3歳・男児	3日
9月	5歳女児	2日	計		44日

(5) 卒業生の進路

中学生

- ・ 文星芸術大学附属高等学校 普通科総合コース
- ・ 栃木県立宇都宮清陵高等学校 普通科
- ・ 矢板中央高等学校 普通科普通コース
- ・ 宇都宮文星女子高等学校 普通科文理探究コース
- ・ 矢板中央高等学校 普通科普通コース

高校生

- ・ 海上自衛隊 横須賀教育隊 (自立)
- ・ 株式会社 高野鋼業 (自立)
- ・ 栃木住友電工 (株) (自立)
- ・ AUTO TECHNIC JAPAN (自立)
- ・ 駿河台大学スポーツ科学部 (自立)
- ・ TBC 学院 国際テクニカル調理製菓専門学校  
調理経営学科パティシエ&ブーランジュコース (自立)
- ・ 株式会社 伊藤園ホテルズ (自立)

3. 養護の状況

(1) 給食

嗜好調査を行い、子ども達の声聞きながら新しいメニューも取り入れた。

朝食・夕食のグループで作れるものはグループで作り、食べることによって、家庭的な環境で会話を楽しみながら食事をして、団欒する事が出来る様になった。また余った食材等も次の食事に回したり工夫する事によって残食もかなり減った。子どもたちも卵料理などの簡単な調理は進んで行く様子が多く見られた。今後も食事のマナーなどについて、幼児の内から身につけられるよう支援していきたい。

また今後も引き続き、子ども達が楽しく食事が出来る食卓づくりを目標として行きたい。

## (2) 健康管理

### ①健康管理

看護師と全職員で子どもたちの体調管理に留意し、医療機関とも連携しながら健康管理を行った。

(のべ通院人数：666人、通院月平均：55人)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、年間を通じて感染の流行は終息せずが続いている状況であった。合わせてインフルエンザの流行も長期間続いた。新型コロナウイルス感染症の児童への罹患は少なかったが、インフルエンザは学校での流行もあり、感染する児童が多かった。施設内での感染対策は感染の状況によって強化し、感染拡大を防ぐため、感染者の個室隔離やマスクや手指消毒の徹底、室内の消毒を実施。感染者のいるグループと他のグループとの接触機会を減らすなどの対策を行った。昨年度まで実施していた面会・外出・外泊の禁止、面会者の健康チェックについては新型コロナウイルス感染症の感染拡大がなかったため実施していない。これからも様々な感染症に対し、子どもたちが健康で安全に生活できるように、その疾患の流行の状況に応じた感染症対策を実施していく必要がある。

また、発達的な課題を持った児童の入所も増えてきており、個々の課題に合わせた学校や生活面での丁寧なサポートが必要とされるため、今後も医療機関や学校と連携しながら支援していく必要がある。

### ②通院状況 (のべ通院人数666人)

内科・小児科 (中津川クリニック・おのこどもクリニック・済生会病院・  
きぬの里クリニックなど)・・・286人

歯科 (福澤歯科クリニック・スペシャルニーズセンター)・・・87人

皮膚科 (檜山医院)・・・47人

耳鼻科 (中川耳鼻科)・・・41人

眼科 (早坂眼科・自治医大病院など)・・・65人

整形外科 (半田クリニック・倉持整形外科)・・・78人

泌尿器科 (自治医大病院)・・・1人

リハビリテーションセンター (塩谷病院・国福大病院)・・・21人

小児精神科 (国福リハセン)・・・29人

### ③各種予防接種

二種混合ワクチン・・・1人

インフルエンザワクチン・・・53人

日本脳炎ワクチン・・・8人

新型コロナウイルスワクチン・・・43人

子宮頸がんワクチン・・・8人

#### 4. 研修報告

##### 令和5年度研修報告

月 日	研 修 名	内 容	場 所	参加者
4. 21	①栃養協新職員任研修	社会的養護の基本的な理解と養育者の心構え 措置制度及び児童養護の現状と課題	県庁	藤野 大平 大塩
5. 18	子どもの虹 児童養護施設指導者研修 (オンライン)	子どもが抱く家族への思い 子どもの主体性を育てる養育	氏家養護園	桑原
5. 19	2,023 年度スキルアップ研修会(オンライン)	食物アレルギーの食事と管理～基礎知識と最新情報	氏家養護園	加藤
5. 25	②栃養協新任職員研修	社会的養護理論 社会的養護の歴史と現状 社会人としてのルール、ビジネスマナー、チームに貢献する仕事の進め方	とちぎ青少年センター	藤野 大平 大塩
6. 14	①栃養協若手職員研修	アドミッションケア・インケア	県庁研修館	山形
6. 22	①栃養協中堅職員研修	リービングケア・アフターケア リーダーシップ組織のマネジメント	県庁研修館	田代 小林
7. 10	アフターケア関係者及び自立支援担当職員・職業支援等研修会	カンボジアで孤児院を運営するボクがあなたに伝える勇気が出る言葉	とちぎ青少年センター	亀山
7. 10	ライフストーリーワーク基礎研修	ライフストーリーとは何かという基本的な処から実践的なところまで網羅的な講義	養護園 オンライン	小野 竹村
7. 13	①栃養協上級職員・幹部職員合同研修	社会的養護理論⑧今日の課題と将来像 組織の運営・管理(マネジメント)	県庁昭和館	竹村 桑原 上野
7. 15 16	第69回 関東甲信越静里親協議会浜松市研修大会	のびのび子育て すくすく子育て 出自を知ることや生みの親との関係について	静岡県浜松市(アクトシティ浜松)	福田園長
7. 21	全国児童家庭支援実務者研修 (オンライン)	児童家庭支援センターの地域での役割等	氏家養護園	安藤
8. 22	②栃養協若手職員研修	ペアレントトレーニングの手法を活用した児童とのかかわり方	とちぎ青少年センター	山形
9. 7	第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナーとちぎ大会	フォスタリング機関の現状とこれから 子どもの居場所に求められる姿 家庭養育推進と子どもの権利擁護	栃木県総合文化センター	芳村 田代 安藤



9. 1 2	②栃養協若手職員研修	児童期、思春期の性に向き合う ペアレントトレーニングの手法 を活用した児童との関わり	県庁本館9F	山形
9. 2 1	③栃養協新任職員研修	トラウマを抱える児童に対する 支援について 子どもの声を聴 く(施設を退所したOB,OGの体 験談	とちぎ青少年セ ンター	藤野 大平 大塩
10. 4～ 5	④CW部会、栃養協新 任職員研修	施設見学 栃養協会長講和 先 輩職員からの体験談・アドバイ ス、グループワーク	那須スポーツパ ーク	藤野 大平 大塩
10. 1 1	第35回 関東ブロッ ク児童養護施設職員研 修神奈川大会	子どもとのつながり 職員同士 のつながり 地域とのつながり 第2分科会家庭調節 家族との 新たなつながりへ向けた支援を 考える	川崎市コンベン ションホール	福田亘
10. 2 0	②栃養協中堅職員研修	新任職員等への指導・教育(スー パーバイズ)	栃木県教育会館	小林 田代
10. 2 5	②栃養協上級職員・幹 部職員合同研修	関係機関との連携 社会的養護における人材育成	とちぎ青少年セ ンター	竹村 桑原 上野
10. 2 8 ～29	第14回甘えと間と主 観性研修会 学術集会 栃木大会	第14回子ども虐待をなくそう 県民のつどい テーマ 地域の 中で親支援はどこまで可能か	作新学院大学 清原キャンパス	田代
11. 1 4	アフターケア関係者研 修会及び自立支援担当 職員研修会	子どもアドボカシーと当事者参 画 社会的養護のその後と当事 者参画	とちぎ青少年セ ンター	亀山
11. 1 7	③栃養協中堅職員研修	子ども間の暴力防止・職員の共感 疲労について	栃木県文化セン ター	田代 小林
11. 2 4 ～26  25～26	日本子ども虐待防止学 会第29回学術集会 滋賀大会	すべての子らを、世の光に 児童虐待の定義をめぐる問題～ これからの虐待対応を展望して ～ シンポジウム1, 2	滋賀県大津市(び わ湖大津プリン スホテル びわ こくさつキャン パス	福田園長  竹村
12. 1	被措置児童等虐待防止 研修会	被措置児童の権利擁護・虐待根絶 のために なぜ虐待は起きるのか 施設内 虐待を予防するには	とちぎ青少年セ ンター	芳村 大谷 大平 大塩 久郷
12. 1 5	③栃養協若手職員研修	心の成長発達と関係性障害の改 善を目指して	とちぎ青少年セ ンター	山形
1. 2 4～ 25	関東ブロック児童養護 施設研修会 第3回事	児童福祉の運営管理～措置費の 今後について	千葉県アートホ テル成田	松田

	務・運営管理者研修会	施策動向を見据えた今後の運営管理を自覚する 事務職員の現状と課題について		
1. 2 2	令和5年度施設長及び幹部職員研修会	施設の多機能化、地域の子育て支援参画について ~改正児童福祉法の施行を控えて	栃木県庁	小野 館野 斎藤
2. 1	令和5年度 施設援助事業	施設内性問題対策強化研修	栃木県庁河内庁舎	竹村 長谷川
2. 1 6	子ども WEEKENDO DAY 1	今、日本の子ども福祉を見つめなおす	日本財団（東京都港区）	福田園長
3. 8～ 1 0	FLEC フォーラム	家庭用後の推進と子ども子育て支援施策の包括化に向けて	早稲田大学国際会議場	福田園長
3. 1 5	令和5年度北関東3県里親支援機関合同研修会並びに第2回茨児協里親支援専門相談員対象研修	里親や支援に携わる職員へのメッセージ	茨城県水戸市千波町東久保 ザ・ヒロサワ・シティ一會館	芳村

栃木県児童養護施設等の各部会は入っていません。

## 5. 行事一覧

日時	行事名	行き先及び内容	参加児童
5/5	ふれあい祭り	コロナの為中止	
5/6	宇都宮ブルックス招待・バスケット観戦	日環アリーナ栃木	小4以上
5/13	園行事	那須ハイランドパーク	全児童
5/28	栃木 SC 招待・栃木 SC 観戦	カンセキスタジアム	小4以上
6/11	子ども登山	雨天中止	
7/7	七夕	園内各グループ	全児童
7/22	北関東警備保障招待・栃木 SC 観戦	カンセキスタジアム	小4以上
7/27	プール（だいち）	一万人プール	だいちグループ
7/31	B&G 海洋性レクリエーション	氏家ゆうゆうパーク	幼児～中学生
8/2,3	小4,小5 キャンプ	那須方面	小4・小5
8/8,9	幼・低学年キャンプ	那須スポーツパーク	幼・小1～小3
8/10,23	乗馬体験	那須こどもの家	小・中
8/12	マルサ工業招待 プロレス観戦	オリオンスクエア	おおぞらグループ
8/17	プール（ひだまり）	那須野が原公園プール	ひだまりグループ
8/18	プール（おおぞら）	一万人プール	おおぞらグループ
8/18	プール（Sou）	那須野が原公園プール	Souの家
8/18	プール（そよかぜ）	一万人プール	そよかぜグループ
8/22	プール（そよかぜ）	一万人プール	そよかぜグループ

8/25	プール (おおぞら)	一万人プール	おおぞらグループ
8/25	プール (だいち)	一万人プール	だいちグループ
8/27,28	中学生キャンプ	那須塩原・那須方面	中学生
9/29	十五夜	園内各グループ	全児童
9/29 ~10/9	文化祭 (作品展)	栃木県子ども総合科学館	全児童
10/14	福祉祭り	氏家体育館	全児童の希望者
10/15	里親交流会	那須スポーツパーク	全児童
10/22	栃木 SC 観戦・星の家祭り	カンセキスタジアム・ロマンチック村	小学生以上
10/22	退所児童お別れ会	カラオケ BANBAN・魚べい	Sou の家
10/24	Sou の家 ハロウィン	ハロウィンパーティー	Sou の家
10/28	西那須野ロータリークラブ招待	那須どうぶつ王国	全児童
10/28 ~10/31	ハロウィン	園内各グループ	全児童
11/4	神取忍チャリティーイベント	園内 (食堂)	全児童
11/11	七五三	御嶽神社	幼2名・大3名
11/12	琴平外出	茨城県大洗サンビーチ	琴平
11/27	社会体験	コロナの為中止	
12/1,2	大人サンタ招待・東京ディズニーランド	東京ディズニーランド	小学生
12/2	社会体験	東京ディズニーランド	幼・中高生
12/10	ケーキ デコレーション (食育)	食堂	全児童
12/23	クリスマス会	園内各グループ	全児童・全職員
12/24	宇都宮ブルックス招待・バスケット観戦	日環アリーナ栃木	小学生以上
12/26	ファイティングビアガーデン プロレス観戦	上河内体育館	小4以上
12/28	餅つき	食堂	全児童
12/28	大掃除	食堂	全児童
1/1	初詣	各グループで参拝	在園児童
1/4,5	高校生旅行	東京・千葉方面	高校生
1/20	宇大もの作り体験	園内 (食堂)	全児童
1/21	トチノキッド来園	園内 (食堂)	全児童
1/27	スキー・スノーボード	たかつえスキー場	小4以上
2/3	節分	園内	全児童
2/11	プロレスリング・ノア招待 プロレス観戦	鹿沼ニューサンピア 栃木	小学生以上
3/2	琴平旅行	横浜中華街	琴平の家
3/3	桃の節句	園内	全児童
3/3	高3 送り出し BBQ	園庭	全児童・全職員

3/16	卒業を祝う会	食堂	全児童・全職員
3/30	渡辺けあき ボーリング招待	第2 トーヨーボウル	全児童

6. 施設の社会科

(1) 施設実習/県内

国際看護介護保育専門学校	①R5年 6月26日～ 7月 5日に実施 (2名)
	②R5年 7月10日～ 7月19日に実施 (3名)
	③R5年10月16日～10月26日に実施 (3名)
佐野日本大学短期大学	R5年 9月 6日～ 9月16日に実施 (2名)
白鷗大学	①R6年 2月13日～ 2月23日に実施 (2名)
	②R6年 2月24日～ 3月 5日に実施 (2名)
宇都宮共和大学	R5年 6月 5日～ 6月15日に実施 (2名)
足利短期大学	R6年 3月 8日～ 3月18日に実施 (2名)

合 計

18名

(3) 里親

○長期休みのふれあい里親事業 各里親宅 9名 利用

(石戸愛斗、上原来巳輝、渡邊紡実、金山春雄、金山華蓮、高久孝太郎、白戸佑矢、遠藤詩鳳、福田彩)

春休み

月 日	児童名	里親名	住所	内容
3月25,26日			那須塩原市井口	1泊2日
3月28,29日			那須塩原市横林	1泊2日
			〃	〃
4月3日			那珂川町芳井	日帰り
			〃	〃
4月3,4,5日			那須塩原市青木	2泊3日

ゴールデンウィーク

月 日	児童名	里親名	住所	内容
4月29,30日			大田原市佐久山	1泊2日
5月3,4,5,6日			那須塩原市横林	3泊4日
			〃	〃
5月3日			那珂川町芳井	日帰り
			〃	〃
5月6,7日			那須塩原市青木	1泊2日

## 夏休み

月 日
8月 5.6.7日
8/9.10.11.12.13 .14.15日
同上
8月 26日
8月 11.12日
8月 14日

住所	内容
大田原市佐久山	2泊3日
那須塩原市横林	6泊7日
〃	〃
那珂川町芳井	日帰り
〃	〃
那須塩原市青木	1泊2日
宇都宮市	日帰り

## 秋休み

月 日
10月 7.8日
10月 6.7.8.9.10.11日
10月 6.7.8.9.10.11日
10月 7日
10月 7日
10月 7.8日

住所	内容
大田原市佐久山	1泊2日
那須塩原市横林	5泊6日
〃	〃
那珂川町芳井	日帰り
〃	〃
宇都宮市	1泊2日

## 冬休み

月 日
12月3日、1月1,2,3日
12月 27.28.29.30.31日 1月 1.2.3.4.5.6.7日
12月 25日
12月3日、1月1,2日
12月3日、1月1日
2月 23.24.25日

住所	内容
大田原市佐久山	3泊4日
那須塩原市横林	11泊12日
〃	〃
矢板市末広町	日帰り
大田原市城山	2泊3日
宇都宮市	1泊2日
宇都宮市	2泊3日

## 週末ふれあい里

月 日
12月 8,9,10日
1月 19,20,21日

住所	内容
那須塩原市横林	2泊3日
〃	〃
那須塩原市横林	2泊3日

		〃	〃
2月 22.23.24.25日		那須塩原市横林	3泊4日
		〃	〃
3月 22.23.24.		那須塩原市横林	2泊3日
		〃	〃
3月 17日		宇都宮市	日帰り

里親委託マッチング（ふれあい里親）

○10/18 ふれあい里親から、里親委託に向けて児相とのカンファレンス

○1/22 里親委託に向けたマッチング開始に向けた情報共有会（施設と県北児相）

マッチングふれあい里親 3月27日加藤里親さんへ委託措置変更になる

月 日	児童名	里親名	住所	内容
2月 22.23.24.25日			大田原市佐久山	3泊4日
3月 1.2.3日			大田原市佐久山	2泊3日
3月 8.9.10日			大田原市佐久山	2泊3日
3月 16.17日			大田原市佐久山	1泊2日

○里親認定研修（座学・グループ研修）参加

日時： 7月7日 9:30～16:30

場所： パルティ

参加者： 下記表内の方々が参加する

○養育体験事業体験者受け入れ 7月15日（土） 里親 12名（8組）

月 日	里親名	体験場所	住所	内容
7月15日		氏家養護園	県北	基礎研修養育体験
		氏家養護園	県北	基礎研修養育体験
		氏家養護園	県北	基礎研修養育体験
		氏家養護園	県北	基礎研修養育体験
		氏家養護園	県北	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
		氏家養護園	中央	基礎研修養育体験
未委託里親養育体験				

11月11日	氏家養護園	県北	養育体験のみ
11月18日	氏家養護園	県北	養育体験のみ
11月18日	氏家養護園	県北	養育体験のみ

### ○里親制度の普及啓発

日時	場所	内容
5月17日(水)	真岡西中学校	教職員研修にて
7月28日(金)	南那須特別支援学校	特別支援学校センター的機能充 実事業 夏季研修にて
8月20日(金)	那須塩原市健康長寿センター	あおぞらフェスタ 2023 にて
10月14日(土)	さくら市公民館	さくら市福祉祭りにて啓発活動
11月4日(土)	大田原市県北体育館	大田原市産業まつりにて啓発活動
11月12日(日)	鹿沼市ニューサンピア栃木	栃木県里親大会にて啓発活動
12月19日(火)	芳賀町役場	ショートステイ里親に向けての学びの会

### ○県北地区里親会行事参加

月日(曜日)	場所	内容	備考
8月26日(土)	那須フィッシュランド (那須塩原市)	・ニジマス釣り ・バーベキュー	
2月17日(土)	県北里親研修 (県北児相・千本松牧場)	・映画鑑賞 ・いちご狩り	

### ○里親会理事会

NO	日時	場所	内容	備考
第1回	5/29	県北児相	顔合わせ/年間事業計画の確認	
第2回	9/21	県北児相	いちご狩り/里親大会/里親研修について	
第3回	3/22	県北児相	事業報告/会計報告他 事業計画/会計予算他	

### ○栃木県里親大会実行委員会

NO	日時	場所	内容	備考
第1回	5/26	パーティー	顔合わせ/概略説明	
第2回	7/11	中央児相	検討課題の話し合い	
第3回	9/7	中央児相	役割確認 他	
第4回	11/2	中央児相	最終確認 他	

### ○県北地区里親サロン・ひよこサロン参加 (全4回参加)

里親サロン 毎月第4火曜日 (5回参加)  
ひよこサロン 奇数月第1金曜日 (0回参加)

### ○栃養協 里親支援部会への参加

NO	月日(曜日)	場所	内容
第1回	2023年5月19日	中央児相	役決め、活動について、研修、施設実習

	2023年6月15日	桔梗寮	各施設の委託・マッチング状況情報共有
第2回	2023年7月 6日	中央児相	里親委託の事例検討
第3回	2023年10月16日	中央児相	里親委託の実務について
	2023年11月16日	ネバーランド	各施設の委託状況からの困り感の共有
第4回	2024年3月18日	桔梗寮	里親養育包括支援人材育成スペシャルフォーラム、FLECフォーラム、北関東三県里親支援合同研修報告、TFCより新里親支援専門相談員の実践について、児相よりマッチング報告様式について。

- さくら市学校教育課との会議（ 里親さん里子支援会議） 6/30 14:30～  
 ○那須烏山市学校教育課との会議（ 里親さん支援会議） 11/29 10:30～

### 栃木フォスタリングセンター関連

- 第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナー栃木大会

日時： 9/6（水） 9:30～16:50

場所： 栃木県総合文化センター

参加対象者：社会的養護関係者、 児童家庭支援センター関係者 他

- フォスタリングパートナー研修（計 4回）

5/25、7/13、11/30、2/22

NO	日時	場所	内容
1	2023. 5. 25	とちぎ福祉プラザ	個人情報保護について/記録の書き方について
2	2023. 7. 13	とちぎ福祉プラザ	関係作りと傾聴
3	2023. 11. 30	栃木県教育会館	事例検討会/研修復命「おうち性教育」/ランチミーティング
4	2024. 2. 22	とちぎ福祉プラザ	マッチングから委託までの実際/レスパイトケア

- 里親さん支援「フォスタリングチェンジプログラム」学習会

NO	日時	場所	内容
第1回			スターと打ち合わせ
第2回	6/21	養徳園	セッション1
	6/27	Zoom うじいえ養護園	コンサルテーション イギリスからのZOOM
第3回	7/19	養徳園	セッション2
第4回	8/24	TAKUTAKU	セッション3
第5回	9/28	TAKUTAKU	セッション5
第6回	10/26	TAKUTAKU	セッション6
第7回	10/31	とちぎ福祉プラザ	FCP実施状況見学
第8回	12/7	TAKUTAKU	セッション7
第9回	1/11	TAKUTAKU	セッション8

- フォスタリング県北地区連絡会議 県北児童相談所(奇数月第4水曜日)

5/24、7/26、9/27、11/22、1/24、3/27 計 6回参加

- 里親応援会議出席（2回）

NO	月日（曜日）	場所	内容
----	--------	----	----



1	2023年9月26日	県北児相	佐藤千尋	個別ケース会／応援会議
2	2024年3月7日	県北児相	石戸愛斗	個別ケース会議/応援会議

### ○家庭訪問（計 18 回）

#### ●TFC フォスタリングパートナーとしての家庭訪問（11 回）

里親宅（県北） 親さん宅（深澤春陽君） 6 回（委託後支援）  
 （4/20 6/23 8/31 10/19 12/21 2/15 ）

親さん宅（ さん） 5 回（委託後支援）  
 （10/10 11/4 12/5 1/19 3/5 ）

#### ●里親さんからの依頼（ショートステイ里親を含む）を受けて家庭訪問（7 回）

ん さん支援）さくら市 4/16、12/15、2/9 3 回  
 ん さくら市 7/1  
 那須烏山市 3/3  
 大田原市 9/5  
 那須塩原市 12/21

### ○里親さんの活動支援

#### ●小豆畑里親さん活動支援アロマコラージュ

3 / 3 13 : 00 ~ 参加者 6 人

### ○さくら市ショートステイ里親支援

#### ●2/24 ショートステイ里親希望里親さん及びさくら市子育て世代の方々向け養育研修 さん、 さん、 さん 参加

#### ●9/16 ショートステイ里親委託候補の子の確認アセスメント （児童家庭支援センターちゅうりっぷ） （小3）

#### ●12/6 里親ショートステイ検討会議（さくら市子ども政策課）

#### ●12/19 芳賀町ショートステイ里親プロジェクト導入のための支援（説明）会議参加

### ○さくら市 地域家庭支援会議

#### ●9/20 さくら市地域共生社会重層支援会議「さくら市 小室里親さん」支援会議 親さん及び ちゃん支援会

### ○さくら市子ども政策課

- 第 1 回 居場所会議 4 月 13 日
- 第 2 回 居場所会議 4 月 21 日
- 那珂川町のんびりカフェ見学 4 月 25 日
- さくら市喜連川児童センター見学 4 月 27 日
- さくら市上松山児童センター見学 4 月 28 日
- さくら市氏家学童センター見学 5 月 9 日
- 第 3 回 居場所会議 5 月 9 日

- 第4回 居場所会議 5月10日
- 那須塩原市 アップルバーム見学 5月15日
- ボランティアさん面談 5月30日
- 第5回 居場所会議 6月12日
- 大田原市 ケアラーズカフェ見学 6月28日
- 第6回 居場所会議 7月11日

○南っ子ひろば支援（送迎あり）・・・ 31回

里親さん（さん支援）

6月	6/16, 6/21 (送迎) 6/23, 6/28 (送迎)、6/30 (送迎)	5回
7月	7/12 (送迎)、7/19 (送迎)、7/21 (送迎) 7/28	4回
8月	8/18 (送迎)、8/23 (送迎)、8/30 (送迎)	3回
9月	9/1 (送迎)、9/8、9/13 (送迎) 9/15 (送迎)、9/20 (送迎) 9/22、9/27 (送迎) 9/29 (送迎)	8回
10月	10/4 (送迎)、10/6 (送迎)、10/11 (送迎)、10/13、10/18	5回
11月	11/24、11/29	2回
12月	12/1、12/6、12/13、12/15 (送迎)	4回

○南っ子食堂（11月10日開始）・・・ 4回 里親さん支援

11月	利用なし	
12月	12/1、12/8、12/15、12/22、	4回
1月	利用なし	
2月	利用なし	
3月	利用なし	

○里親カフェ（フォスタリングセンター主催）

月日 (曜日)	場所	内容
4月 29日(土)	健康の森	里親カフェ
7月 1日(土)	とちぎ福祉プラザ	里親カフェ
7月 22日(土)	清原市民センター	里親カフェ
9月 30日(土)	宇都宮コミュニティーセンター	里親カフェ

○全国里親大会参加

日時：10月28日(土)、29日(日)  
場所：兵庫県神戸市 神戸国際会議場（現地参加）

○関東甲信越静地区里親大会参加

日時：7月 16日(日)  
場所：ZOOM・オンデマンドのオンライン参加

○栃木県里親大会参加

日時：11月 12日(日)  
場所：鹿沼市 ニューサンピア栃木

○栃木県里親会全体研修

日時：令和6年 2月10日(土)  
場所：とちぎ男女共同参画センター パルティール 参加

○県北地区里親研修

日時：令和6年2月17日（土）

場所：県北児相/千本松牧場

参加

○中央地区里親研修

日時：令和6年 3月10日(日) 10:00～

場所：とちぎ男女共同参画センター パルティアー 参加

○里親リクルート

日時	氏名	住所	備考
2023. 7. 29		那須烏山市大桶	特別支援学校職員
2023. 8. 19		高根沢町太田	特別支援学校教員
2023. 12. 14		日光市今市	養徳園職員
2024. 1. 12		矢板市石関	琴平の家 職員
2024. 3. 21		高根沢町宝積寺	
2024. 3. 21		高根沢町平田	
2024. 3. 21		宇都宮市宝本町	

令和4年度11御家族の方に里親リクルートをさせていただき、  
内3ご家族の方が研修を終え、令和5年度里親登録が済みました。うち令和6年3月、1組が里子委託となりました。

○里親の日 ・ 里親交流会 （養徳園と合同）

N O	日時	場所	内容	周知範囲
第1回	6/3 (土)	養徳園 食堂	食を考えよう ・養徳園の栄養士さんに話を聞く ・養徳園の食事をお頂く。	全県下の里親さん
第2回	7/29 (土) - 7/30 (日)	NPO法人 みつばち 笑店	古民家宿泊体験 ・委託児童のみ参加してもらった。 ・絵本で気持ちワークショップ ・調理実習 ・喜連川温泉入浴	全県下の里親さん
交流会	10/1 5	那須スポーツ パーク 大田原市湯津 上2745	里親さんと児童養護施設職員の交流（グループに分かれて座談会）/子どもたちグランドゴルフ交流（雨のため映画鑑賞になった）	全県下の里親さん
第3回	2/17	養徳園	育ちアルバム →参加者がなかったため、中止となる。	全県下の里親さん

○県北里専の会（養徳園/桔梗寮/明和園/氏家養護園合同 里親支援専門相談員）主催  
里親サロン

NO	日時	場所	内容	周知範囲
	10/6	養徳園	県北里専の会第1回企画会議	各施設里専
	11/27	養徳園	県北里専の会第2回企画会議	各施設里専
第1回	12/2	那須塩原市東那須野公民館	100万人のクラシックライブ ・プロのヴァイオリンとピアノ の奏者の方の演奏を聴く ・茶話会とお下がり会	県北地区里親
	12/15	養徳園	県北里専の会第3回企画会議	各施設里専
	1/25	養徳園	NHK文化厚生事業団DVD	各施設里専
	2/20	養徳園	県北里専の会第4回企画会議	各施設里専
	3/14	養徳園	県北里専の会第6回企画会議→中止	各施設里専
第2回	3/17	那須塩原市東那須野公民館	保育士 榛葉さんのパネルシアター → 参加者なしのため 中止となる。	県北地区里親

○里親支援専門相談員関係研修

月日(曜日)	場 所	内 容
4月15日(土)	養徳園 カンファレンスルーム	第17回MY TREEプログラム実践者養成講座 理論編 zoom
4月16日(日)	養徳園 カンファレンスルーム	第17回MY TREEプログラム実践者養成講座 理論編 zoom
5月20日(土)	大阪府天満橋	第17回MY TREEプログラム実践者養成講座 実践編
5月21日(日)	大阪府天満橋	第17回MY TREEプログラム実践者養成講座 実践編
6月27日(火)	氏家養護園 on-line	Zoom FCPコンサルテーションデイ
8月28日(月)	氏家養護園 オンデマンド	里親on- line研修「大学生里子に聞く進学までの道のり」
9月6日(水)	宇都宮総合文化センター	第3回全国子ども家庭養育支援地域ネット ワークセミナー
12月1日(金) (栃養協)	栃木県青少年センター(アミークス )	権利擁護「虐待根絶のために」

12月13日（水）	宮城県仙台市国際会議場	里親養育包括支援機関人材育成プログラム
12月14日（木）	宮城県仙台市国際会議場	里親養育包括支援機関人材育成プログラム
2月10日（土） （里親連合会研修）	とちぎ男女共同参画 パーティー	里親全体研修 「子どもを知って ～幸せな毎日のために～」
2月17日（月）	県北児相→千本松牧場	映画鑑賞「ママをやめてもいいですか」 レクリエーション「いちご狩り」（千本松牧場にて）
2月24日（土）	さくら市公民館	ショートステイ里親養育研修
3月1日（金）	東京 日本橋三井ホール	里親養育包括支援機関人材育成プログラム スペシャルフォーラム
3月8日（金）	うじいえ養護園 オンライン	FLEC フォーラム
3月9日（土）	早稲田大学11号館及び国際会議場	FLEC フォーラム
3月10日（日）	うじいえ養護園 オンライン	FLEC フォーラム
3月15日（金）	茨城県水戸市	北関東3県里親支援機関合同研修会

### ○氏家養護園こども相談

ふれあい里親から戻ってからの、子どもからの相談

→担当ケアワーカーと共有し施設で相談の上  
それぞれの管轄児相につなげる。

○10/13

○11/6

ふれあい里親担当職員面談

○12/20

○1/10

○1/15

○1/17

○2/5

児相の児相ふれあい担当職員面談

○2/27

●1/29 上記相談より、  
ケースカンファレンス

の里親委託を考慮に入れた

### \* 栃木フォスタリングセンターとの協働 \*

里親支援専門相談員 1 名（岩瀬梢）を栃木フォスタリングセンターに常駐させ  
リクルート、里親支援、研修等を共に実施した。

### (3) ボランティアの受け入れ

余暇支援・・・宇都宮ブレックス 試合観戦 ( 5 / 6、12 / 24 )

栃木SC 選手交流 ( 5 / 22、6 / 1 )

栃木SC 試合観戦 ( 5 / 28、10 / 22 )

ALSOC 栃木SC試合観戦	( 7 / 22 )
Spes アクティビティ那須	
B&G海洋性レクリエーション体験	( 7 / 31 )
ウスイ産業・マルサ工業	
ファイティングビアガーデン招待	( 8 / 12 )
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬体験	( 8 / 10, 23 )
LLPW-X神取忍&井上貴子	
栃木と日本を元気にするチャリティーイベント	( 11 / 4 )
大人サンタ ディズニーランド招待	( 12 / 1 )
ウスイ産業・栃木プロレス プロレス観戦	( 12 / 26 )
宇都宮大学教育学部ものづくり体験	( 1 / 20 )
トチノキッド ヒーローDVD鑑賞	( 1 / 21 )
株式会社CyberFight プロレスリング・ノア	
プロレス観戦	( 2 / 11 )
里のあかり 夕食招待	( 2 / 18, 19 )
渡辺けあき ボーリング招待	( 3 / 30 )
奉仕作業・ . . . . . さくら市更生保護女性会	( 11 / 30 )
主な寄付・ . . . . . 西導寺	
佐藤 利廣	
平松 明夫	
POSTE DE BLE	
植木 武	
松本 加奈子	
マルハン氏家店	
松崎屋本店	
齋藤 保夫 (みどり屋)	
添田 一	
佐々木 詩芸	
寺内 秀美	
松本 悟志	
松本 郁子	

## 7. 防災関係

4月 6日	令和4年度 消防計画(変更)届出書	消防署提出
8日	避難・消火訓練	園内
5月14日	避難・消火訓練	園内
6月24日	夜間想定訓練	園内
7月15日	避難・消火訓練	園内
8月21日	避難・消火訓練	園内
9月10日	避難・消火訓練	園内

- |        |                   |        |
|--------|-------------------|--------|
| 10月29日 | 避難・消火訓練           | 園内     |
| 11月26日 | 避難・通報・消火訓練（消防署申請） | 園内     |
| 12月26日 | 避難・消火訓練           | 園内     |
| 1月20日  | 避難・消火訓練           | 園内     |
| 2月25日  | 避難・消火訓練           | 園内     |
| 3月18日  | 総合訓練用 消防訓練計画書     | 消防署提出  |
| 3月27日  | 総合・避難訓練           | 園内     |
|        | 通報・水消火器・煙体験訓練     | 消防職員派遣 |
- ・消防用設備等 自主点検チェック 年2回 4月・10月
  - ・消防用設備等の法定点検 笹沼防災 年2回 4月・12月
  - ・自主点検チェック（火気関係） 毎日
  - ・氏家消防署査察 4月13日 改善計画提出 5月21日
  - ・11月17日 厚生労働省福祉基盤課 災害発生時における被災発生状況を把握する システムの  
訓練の実施

## 8. 各グループ報告

### <おおぞらグループ>

#### (1) 子どもの構成

- ①高校1年生男児 県立矢板高校 令和5年6月1日 Souの家へ移動
- ②中学3年生男児 市立氏家中学校
- ③小学4年生男児 市立南小学校
- ④小学4年生男児 市立南小学校
- ⑤小学4年生男児 市立南小学校 令和5年6月1日だいちへ移動
- ⑥小学3年生男児 南那須特別支援学校 令和5年6月1日そよかぜより加入
- ⑦小学2年生男児 市立南小学校
- ⑧幼児男児 ヒカリ園 令和5年10月1日入所

#### (2) 職員構成

- 小野明美 (保育士・ユニットリーダー)
- 永井健二 (指導員・グループリーダー)
- 後藤紀子 (保育士)
- 小林秀和 (保育士)
- 大塩菜月 (保育士)

#### (3) 通学状況

- 矢板高校 1名 (自転車・電車・バス)
- 氏家中学校 1名 (自転車)
- 南那須特別支援学校 1名 (通学バス)
- 南小学校 4名 (徒歩)
- ヒカリ園 1名 (公用車送迎)

(4) グループ行事

- 7月 グループ調理
- 8月 プール行事(2回)
- 9月 グループ調理
- 11月 グループ調理

(5) 定期通院状況

宇都宮済生会病院・小児科	1名	1ヶ月	1回
おのこどもクリニック	2名	1ヶ月	1回(服薬)

(6) 生活状況

- ・今年度グループメンバーの変更があり、トラブル等も少なくなったことで落ち着いた生活を送ることが出来た。
- ・全員順調に、登校が出来た。
- ・小学生の学習する習慣は身につけているが、中学生の学習については、宿題以外の家庭学習がなかなか定着しない。
- ・自分が関係ないにもかかわらず他児に干渉してしまい必要のないトラブルが見られた。
- ・整理整頓が苦手な子が多く、部屋が散らかることも多いが、少しずつ自分なりに片付けようとする姿が見られるようになってきた。

(7) 今後の課題

- ・プライベートゾーンやパーソナルスペースの理解を進め安心・安全なグループにする
- ・健康に留意し、元気に過ごす。
- ・挨拶、お礼が言えるようにする。
- ・思いやりの心が養える様支援する。
- ・自分の持ち物の整理整頓ができ、物を大切にすることを養えるよう支援する。
- ・様々な社会体験を通して、自分にできることを見出すとともに、自己肯定感が持てるよう支援していく。

<だいちグループ>

○ユニット構成児童

- ・グループ名:「だいち」定員…男子6名(小規模グループケア対象)

(1) 児童

- ・高校1年生年生男児 栃木県立矢板高等学校 令和6年3月14日一時保護
- ・中学3年生男児 市立氏家中学校  
※自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍。
- ・中学3年生男児 市立氏家中学校 令和5年4月12日入所
- ・中学2年生男児 市立氏家中学校 令和5年6月1日そよかぜへ移動
- ・中学1年生男児 市立氏家中学校



- ・小学4年生男児 市立南小学校 令和5年6月1日そよかぜへ移動
- ・小学4年生男児 市立南小学校 令和5年6月1日おおぞらより加入  
※知的障害特別支援学級に在籍。
- ・小学4年生男児 市立南小学校 令和5年6月1日 Sou の家へ移動
- ・小学3年生男児 町立阿久津小学校・市立南小学校 令和5年10月1日入所  
※情緒障害特別支援学校に在籍

(2) 職員 ※正職員3名

- ・ 舘野 義博 (男性) 社会福祉士 保育士 ユニットリーダー  
\* 6月からそよかぜへ異動
- ・ 大谷 典子 (女性) 保育士 グループリーダー
- ・ 桑原 亮太 (男性) 保育士 \* 1月退職
- ・ 片岡 弘江 (女性) 児童指導員 \* 6月からそよかぜより異動
- ・ 2月より他の職員にお手伝いに入ってください。

(3) 通学状況

- ・ 県立矢板高等学校 自転車、電車、バス
- ・ 市立氏家中学校 自転車
- ・ 市立南小学校 徒歩
- ・ 町立阿久津 公用車送迎

(4) ユニット行事報告

- ・ 誕生日会 (子どもの誕生日)
- ・ プール行事 (7、8月)
- ・ グループ調理 (10、11、1月)
- ・ お別れ会外食 (3月)

(5) 定期通院状況

- ・ 国際医療福祉大学リハビリテーションセンター 2名：高校1年生男児 (月1回 服薬)  
中学3年生男児 (月1回 服薬)
- ・ 国際医療福祉大学病院 1名：小学4年生男児 (3カ月に1回定期通院)
- ・ 自治医科大付属病院 1名：小学4年生男児 (年1回 定期通院)
- ・ おのこどもクリニック 1名：小学4年生男児 (月1回 服薬)
- ・ 国際医療福祉大学塩谷病院 1名：小学4年生男児 (2カ月に1回定期通院)
- ・ 栃木県立リハビリテーションセンター 1名：小学3年生男児 (月1回 服薬)
- ・ 中川耳鼻科 1名：中学2年生男児 (月1 服薬)
- ・ 桧山医院 1名；中学3年生男児 (月1 服薬)

(6) 生活状況報告

- ・ 4月1日6人からのスタートになる。12日に中学3年生1名入所になり7人になる。

- ・6月よりグループの入れ替わりがあり5人に。10月1日に小学3年生入所になり6人になる。
- ・小学3、4年生男児との間に性的なトラブルがありグループ別にして対応。元のグループに戻り部屋の行き来をしないことの約束をする。職員が目配りをしてトラブル防止に努めた。施設長、児相を交えてカンファレンスを行った。
- ・外で鬼ごっこをしたり、夜はカードゲーム、ボードゲームなどを行って楽しんでいた。
- ・高校受験生が2名。1名は塾に行き勉強する。2名共に希望した高校に合格した。
- ・おやつもスーパーへ行き、好きな物を自分で計算しながら購入。

#### (7) 今後の課題

- ・子ども個々が居心地の良さを感じて生活ができるように支援していく。
- ・日々の生活を通して、子どもたちが思いやりの心を育ていけるように関わる。
- ・安心感のある場所で大切にされる経験を子どもたちに提供していけるよう、職員間で細かく情報を共有して支援をしていく。
- ・健康に留意して、心身ともに健やかに成長をしていけるように見守っていく。
- ・個々に合った基本的な生活習慣を身に付けていけるよう支援する。
- ・学習に対して、意欲的に取り組み習慣化に繋がるように個々に合わせた学習支援をしていく。その中で進路決定に向けて、子どもと話をしながら目標を設定して支援していく。
- ・自立を視野に入れ、部活動や様々な活動を通して社会性を養って行けるように支援していく。
- ・性的なトラブルがおきないように、子どもたちの行動に目配りし、職員一人一人の意識づけをしていく。

#### <ひだまりグループ>

##### (1) 子どもの構成

- |   |         |       |                     |
|---|---------|-------|---------------------|
| ① | 中学1年女児  | 氏家中学校 |                     |
| ② | 小学5年女児  | 南小学校  | ※令和5年6月1日 Souの家へ移動  |
| ③ | 小学4年女児  | 南小学校  | ※令和5年6月1日 Souの家へ移動  |
| ④ | 小学4年女児  | 南小学校  | ※令和5年6月1日そよかぜより加入   |
| ⑤ | 小学4年女児  | 南小学校  |                     |
| ⑥ | 小学2年女児  | 南小学校  |                     |
| ⑦ | 小学1年女児  | 南小学校  | ※令和5年12月22日そよかぜより加入 |
| ⑧ | 幼稚園年少前児 | ヒカリ園  |                     |

##### (2) 職員構成

- 後藤華織 (指導員、グループリーダー)  
 佐藤優衣 (保育士)  
 大平真緒 (指導員)  
 酒井春子 (保育士)

##### (3) 通学状況

- 氏家中学校 1名 (自転車)

南小学校 6名（徒歩）  
ヒカリ園 1名（公用車送迎）

(4) グループ行事  
お楽しみ会（3月） → 外食「ガスト」

(5) 定期通院状況

檜山医院	2名	月1回（服薬）
おのこどもクリニック	3名	月1回（服薬）
はやさか眼科	1名	3か月に1回
早坂眼科	2名	2ヶ月に1回
福澤歯科	2名	月1回

(6) 生活状況

- ・定員が6名でスタートしたがグループ変更があり子どもの出入りがあった。しかし、それぞれの子どもが関係を築き落ち着いて生活することができた。
- ・持病のある子どもは服薬しているが、とても健康的で元気に生活出来ていた。
- ・時々欠席してしまう子どもいたが、長引くことなく登校できていた。
- ・小学生は学校の宿題を終わらせる習慣が身に付いてはいたものの取組みの内容については個人差が見られた。
- ・日常生活の約束を守り自ら考えて行動できるようになってきた。
- ・起床就寝や食事、入浴、遊び等の時間を考えながら、子ども達自身の時間を有意義に使って生活することが出来るようになってきた。
- ・職員間で情報共有をし合い子ども達への支援を行うことが出来た。

(7) 今後の課題

- ・個人のパーソナルスペースを確保し居心地よく安心して生活できるように配慮する。
- ・職員間の情報共有を密にし、子ども達一人ひとりに合った支援を心掛ける。
- ・基本的な生活習慣を身に付けられるよう個々に合った支援を行う。
- ・学習に意欲的に取り組むことが出来るよう支援する。
- ・心身ともに健康に成長できるよう日常の変化を見落とさぬように見守る。

<そよかぜグループ>

(1) 子どもの構成

- ①小学1年生女児 南小学校 令和5年12月22日ひだまりへ移動
- ②小学2年生男児 南小学校 令和5年6月1日 Souの家へ移動
- ③小学2年生男児 南小学校
- ④小学3年生男児 南那須特別支援学校 令和5年6月1日おおぞらへ移動
- ⑤小学4年生男児 南小学校
- ⑥小学4年生男児 南小学校 令和5年6月1日だいちより加入

⑦小学4年生女兒 南小学校 令和5年6月1日ひだまりへ移動

⑧中学2年生男児 氏家中学校 令和5年6月1日だいちより加入

## (2) 職員構成

館野 義博 (指導員・ユニットリーダー) \*6月からだいちより異動

竹石 朋浩 (指導員・グループリーダー)

藤野 多江子 (指導員)

片岡 弘江 (指導員) \*6月よりだいちへ異動

## (3) 通学状況

南小学校 6名 (徒歩)

氏家中学校 1名 (自転車)

南那須特別支援学校 1名 (通学バス)

## (4) ユニット行事

9月 グループ調理

11月 グループ調理

8月 プール行事 (2回)

3月 グループ調理 ユニットお楽しみ会

## (5) 定期通院

中川耳鼻科 1名 月1回

## (6) 生活状況

- ・小学生の男児と小学生の女児との間で性的なトラブルがあり、直ぐに女児を他のグループに移動して、施設長及び児相を交えてカンファレンスを行った。
- ・小学生の男児が時々ではあったが、登校の行き渋りが見られたが何とか遅刻登校で休まずに登校が出来た。
- ・小学生の宿題の習慣が身に付き、学校から帰ってくると直ぐに宿題に取り掛かるようになった。
- ・6月から中学生が加わることで、中学生中心の生活になってしまう場面が多々あった。
- ・小学4年生の男児が今年度初めて一人で買い物に行けるように、職員と何回か買い物を行い、自分一人で買い物に行けるようになった。
- ・ゲームのできる時間が決まっていて子ども達が自分で考えて時間配分を行いゲームをするようになった。
- ・整理整頓が苦手な子がいて、部屋が散らかっている時は職員と一緒に掃除をすることで自分一人でも少しずつでも行う様に意識するようになってきた。

## (7) 今後の課題

- ・性的なトラブルが起きないように職員一人一人の意識を高める。
- ・初めてのことにも積極的に取り組みながら、達成感を感じられるような生活を目指したい。

- ・子ども達が楽しんで生活が送れるように、一緒に考え楽しみを持って生活が送れるようにする。
- ・職員間の報告及び連絡を常に意識して行っていく。

#### <みやこ家>

##### (1) 在園児童（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

私立作新学院高等学校	3年	男児
県立烏山高等学校	3年	男児
私立文星芸大附属高等学校	3年	男児
私立矢板中央高等学校	3年	男児
県立宇都宮白楊高等学校	3年	男児
私立文星芸大附属高等学校	1年	男児

##### (2) 職員構成 ※ 正職員3名、非常勤職員1名

三ツ俣 悟	／保育士（グループリーダー）
福田 亘	／指導員
丸山 翔太	／指導員
長内 紀代子	／非常勤

##### (3) 通学状況

各自、徒歩や自転車、定期券を購入して公共交通機関を利用して通学していた。

##### (4) 行事報告（参加児童）

令和5年	5月10日	那須ハイランドパーク（本園） 参加児童：高校3年生3名、高校1年生1名
	11月4日	神取忍さんチャリティー企画（本園） 参加児童：全員
	12月2日	社会体験・東京ディズニーランド 参加児童：全員
	12月10日	ケーキデコレーション行事（本園） 参加児童：全員
	12月23日	クリスマス会（みやこ家） 参加児童：全員
	12月28日	餅つき（本園） 参加児童：全員
令和6年	1月1日	初詣 参加児童：全員
	1月4日～5日	高校生旅行 参加児童：全員
	1月27日	スキー・スノーボード行事（本園） 参加児童：全員

3月 3日	さくら会・BBQ 参加児童：全員
3月16日	卒業を祝う会 参加児童：全員
3月30日	ボウリング招待 参加児童：高校1年生1名

※ 子どもの誕生日会を実施

※ 自立支援専門相談員から情報提供を受けて、とちぎユースアフターケア主催の自立支援プログラムへ参加。

#### (5) 定期通院状況

- ・中川耳鼻咽喉科医院 男児4名 ※アレルギー症状の状況に合わせて通院  
慢性副鼻腔炎の症状のため
- ・かとう眼科 男児1名 ※定期視力検査、コンタクトレンズ購入
- ・慶友病院整形外科クリニック 男児1名 ※左肘内側副靭帯損傷、左胸郭出口症候群のため
- ・かりん整体整骨院 男児1名 ※リハビリのため

#### (6) 生活状況

- ・本年度は、昨年から引き続き5名が進級してグループに残り、新たに高校1年生男児1名が加わったので6名での生活になりました。昨年からは子どもも変わらなかったこと、1年生男児も同じグループに兄がいたことで、他児との関わりもスムーズに取ることができ、子ども同士の関係も年度当初から1年間を通して良好で、昨年とは違った楽しく賑やかな雰囲気であった。
- ・生活リズムが崩れることもなく、各自で生活を組み立てながら過ごすことができていた。進路決定を控えた3年生が5名いたことで、学習面では自主的に勉強をする様子が見られるようになった。その様子を間近で見ていた1年生も、自然と自分から学習をするようになっていた。
- ・本年度は3年生5名が1年間の中で、それぞれが可能な期間アルバイトをすることができた。その中でも、2名が1年間を通してアルバイトを行うことができた。
- ・今年度も高校生全員が部活に所属して活動していた。パワーリフティング部で活動する児童が全国大会に出場して6位の活躍、硬式野球部で活動する児童が県大会ベスト8の活躍であった。

#### (7) 健康面

- ・昨年度から継続して同じ4名がアレルギー症状により定期通院を行った。副鼻腔炎の症状があった児童は、症状が悪化して慢性的なものとなり、月1回の定期通院と移行した。
- ・硬式野球部に所属する児童は、「左肘内側副靭帯損傷」の治療のため、昨年から引き続き専門医がいる群馬県館林市「慶友整形外科クリニック」に、月1～2回程度の定期通院。治療、リハビリを継続しているが、改善が見られないため9月22日に左肘靭帯再建手術を行う。また、治療の過程で他に「左胸郭出口症候群」であるとの診断を受け、1月10日に症状改善のための手術を行う。どちらも術後はリハビリ、診察のために月1～2回通院をした。また、定期的なリハビリについては宇都宮市「かりん整体整骨院」に週1回通院をして行った。
- ・体調不良などの場合、職員の付き添いで適時通院をした。症状回復後の再通院、そのときの症状や

容体など、状況によっては児童だけで通院を行った。また、運動部所属の児童が練習中の怪我など（主に捻挫や打撲）で整形外科、整骨院へ通院する機会が多かった。

#### (8) 進路

- ・高校3年生の5名は、就職4名、進学1名と、それぞれが学校推薦をもらうことができ、その中で希望する進路を実現することができた。

進路状況は以下の通り。

##### ○就職

私立作新学院高等学校	…	海上自衛隊：自立・寮
県立烏山高等学校	…	株式会社高野鋼業：自立・アパート
私立文星芸大附属高等学校	…	栃木住友電工株式会社：自立・アパート
県立宇都宮白楊高等学校	…	株式会社 AUTO TECHNIC JAPAN：自立・アパート

##### ○進学

私立矢板中央高等学校	…	駿河台大学スポーツ科学部・硬式野球部：自立・寮
------------	---	-------------------------

#### (9) 家族関係

- ・連絡や面会などについては、児相からの情報をベースにして、それぞれの家族の状況、また児童の意向に合わせて、園内で協議検討したうえで対応した。
- ・進路など家族との情報共有が必要な場合に関しては、その子どもの状況に合わせ、家族と連絡を取り合うようにした。話し合いが必要な場合、児相を含めて機会を設けて行った。また、園からの連絡は取れない場合には、児相と連携をして状況確認を行った。
- ・家族と連絡を取り合える児童は、児相に確認をしたうえで、各自連絡を取っていた。

#### (10) 今後の課題

- ・高校生だけでなく、中学生の入所も考え、個々の状況や課題に合わせた丁寧な支援が必要になる
- ・安定した学校生活を送れるよう支援する
- ・部活やアルバイトを通して社会性を身につけていけるように支援をしていく
- ・進路の実現に向けて、情報の提供と共有をしていく
- ・自立後のイメージを持てるようにリービングケアの充実を図っていく
- ・ひとり暮らしの手続きや準備などについて子どもたちと一緒に考える機会をつくる

#### <琴平の家>

##### (1) 子どものメンバー

1	高校3年生（女子）	栃木県立那須拓陽高等学校
2	高校3年生（女子）	作新学院高等学校
3	高校1年生（女子）	栃木県立矢板高等学校（～令和5年12月18日）
4	中学3年生（女子）	さくら市立氏家中学校
5	中学3年生（女子）	さくら市立氏家中学校
6	高校2年生（女子）	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園（令和5年7月1日～）

7 中学2年生(女子) さくら市立氏家中学校(令和6年1月1日～)

(2) 職員 3名(常勤) + 1名(非常勤)

- 1 松崎(男) 指導員
- 2 上野(女) 指導員
- 3 長谷川(女) 保育士
- 4 澁谷(女) 非常勤

(3) 通学状況

高校生・・・定期券を使い、JR及びバスの公共交通機関を利用して通学している。

中学生・・・自転車にて通学している。

(4) 行事報告

- R5年 5月 6日 招待行事 宇都宮ブレックス試合観戦  
R5年 5月13日 那須ハイランドパーク  
R5年 8月27日～28日 中学生旅行  
R5年10月22日 招待行事 栃木SC試合観戦  
R5年10月28日 招待行事 那須どうぶつ王国  
R5年10月29日 琴平ハロウィンパーティー  
R5年11月 4日 神取忍チャリティー企画  
R5年11月12日 琴平 茨城旅行  
R5年12月 2日 社会体験 ディズニーランド  
R5年12月10日 ケーキデコレーション体験  
R5年12月23日 琴平クリスマス会  
R5年12月24日 招待行事 宇都宮ブレックス試合観戦  
R5年12月28日 本園餅つき  
R6年 1月20日 宇都宮大学ものづくり  
R6年 1月27日 スキー&スノボ  
R6年 2月11日 招待行事 プロレスノア試合観戦  
R6年 3月 2日 琴平 横浜旅行  
R6年 3月 3日 本園BBQ  
R6年 3月16日 卒業を祝う会  
R6年 3月30日 ボーリング招待

\* 子どもの誕生会実施(希望に応じてのメニューを作りお祝い)

(5) 定期通院状況

- ・ 中学3年生双子の姉妹 斜視にて、獨協医科大学病院眼科 年1回通院  
〃 てんかん治療のため、済生会小児科定期通院
- ・ 高校1年女子 ADHD傾向があり、なす療育園定期通院
- ・ 高校2年女子 ピル服用のため、さくら産院婦人科定期通院



## (6) 生活状況

高校3年生 3年間無遅刻無欠席無早退 皆勤賞を取ることが出来る

高校3年生 高校への行き渋りが見られたが、何とか卒業することが出来る

高校1年生 SNS で知り合った男性との金銭が絡む性交渉などがあり、高校を退学となってしまう

中学3年生 受験のプレッシャーなどにより、学校への行き渋りなども見られたが、無事に卒業、志望校への合格をすることが出来る

高校2年生・中学2年生 年度の途中入所となったが、比較的すぐに馴染むことが出来、新しい学校へもスムーズに通うことが出来た

## (7) 今後の課題

中学生 安定した学校生活を送る

志望校へ合格できるよう、意識的に学業に取り組む

自己選択、自己決定を主として目標を持つ

高校生 高校卒業を第一目標として、学校生活を送る

自己決定、自己選択を主として目標を持つ

自立に向けての情報提供をし、社会生活を営む力、適切な金銭感覚を養う

アルバイトを通じて社会性を身につける

携帯の適切な使用、SNSの危険性の周知、自分自身を大切にすることを養う

## (8) 令和6年度の目標

子ども個々の自立目標を立て、それに向けて適切な支援をしていけるよう、チームで取り組んでいく。

家庭的な生活を基礎に、子どもたちが帰りたくなる安心安全な場所としていく。

振り返りを行い、よりよい支援を目指していく。

## <Sou の家>

### (1) 子どものメンバー

- 1 高校1年生 (男子) 栃木県立矢板高等学校電子科1年
- 2 小学5年生 (女子) さくら市南小学校
- 3 小学4年生 (男子) さくら市南小学校
- 4 小学4年生 (女子) さくら市立南小学校
- 5 小学2年生 (男子) さくら市立南小学校→R5. 10. 26 国分寺学園へ措置変更
- 6 年少 (男子) ヒカリ園→R6. 2. 1 新規入所

### (2) 職員 4名

- 1 大谷 (順) (男) 指導員
- 2 齊藤 (玖) (女) 保育士
- 3 大谷 (宰) (女) 指導員
- 4 諏訪 (す) (女) 指導員 非常勤

(3) 通学状況

高校生 定期券を使い公共交通機関を利用して通学している  
小学生 職員引率にて徒歩で登下校した  
幼児 送迎にて登園している

(4) 行事報告

各々の誕生日に誕生会を行った  
日常的に温泉や外食、カラオケを行い社会的マナーの習得を行った

R 5年	7月	7日	七夕
R 5年	7月	22日	サッカー観戦 (招待)
R 5年	7月	23日	さくら市商工観光祭り
R 5年	8月	10日	乗馬体験 (招待)
R 5年	8月	18日	那須野が原ファミリープール
R 5年	9月	22日	庭にて花火
R 5年	9月	30日	氏家駅前納涼祭
R 5年	10月	8日	児童文化祭見学
R 5年	10月	14日	さくら市福祉祭り
R 5年	10月	15日	里親交流会
R 5年	10月	24日	ハロウィンパーティー
R 5年	10月	28日	なす動物王国 (招待)
R 5年	12月	2日～3日	ディズニーランド (招待)
R 5年	12月	23日	クリスマス会
R 5年	12月	28日	餅つき
R 6年	1月	1日	初詣
R 6年	1月	7日	花市
R 6年	1月	14日	育成顔どんと焼き
R 6年	1月	20日	宇大ものづくり教室
R 6年	2月	24日	宇都宮動物園
R 6年	3月	16日	卒業を祝う会
R 5年	3月	19日	卒業を祝う会
R 5年	3月	27日	ボーリング招待

(5) 定期通院状況

小4男児 斜視にて年1回通院  
各々花粉症などで定期的に通院

(6) 生活状況

R 5年6月5名定員中5名でのスタートとなった

小学2年生、障害児施設入所のため10月26日措置解除  
他の小学生は通学時職員引率で登校している  
概ね元気に一年を過ごすことができた

#### (7) 今後の課題

- 幼児 ・元気に登園する
- 小学生 ・各々高学年になってきているため自分で自分の時間を過ごせるようになってもらいたい（いつも職員とでないと遊べない等の課題あり）
  - ・低学年児は基本的な生活習慣が身につけていないため修得を目指す（排泄、食事、入浴洗体、整理整頓等）
- 高校生 ・基本的生活習慣の修得
  - ・安定した学校生活を送る
  - ・近い将来に向けても目標を持ち実現に向かえるよう支援する
  - ・自立に向けての情報提供、社会生活を営む力を培う

#### (7) 今後の目標

- ・真の家庭的養護を目指し、一般家庭だったらどうするかを第一に考え支援していく。（どうしても集団での生活に慣れてしまっているため、家庭意識が希薄である）
- ・基本的生活習慣も身につけていない子が多いため、基本的生活習慣の修得を目標とする。
- ・幼児は元気に登園することを第一とする。
- ・小学校高学年児は自分で自分の時間過ごせるようになってもらいたい。（いつも職員とでないと遊べない等の課題あり）
- ・低学年児は基本的な生活習慣が身につけていないため修得を目指す（排泄、食事、入浴洗体、整理整頓等）
- ・高校生はまず第一に高校卒業を目標とする。そして自分なりの目標を持って自己実現できるよう支援する。

### 9. 各支援グループ報告

#### ①食育会議グループ

- ・食育会議のメンバーで毎月の献立を確認し合っている。
  - ・子ども達に朝、昼、夕のメニューを立てる機会を設けた。（各グループ夕食のメインを肉料理、魚料理で一日ずつ決める）その結果、メニューを決めるのを始めたばかりの頃は肉中心のメニューになってしまっていたが徐々に魚や野菜を多く使ったメニューを作ってくれ、実施する年数を重ねてきたのでバランスの良い食事の在り方を学ぶ結果になっている。
  - ・畑で栽培した野菜を収穫して、メニューに取り入れることによって子ども達も積極的に野菜を食べてくれる
- ようになり収穫するのを楽しみにしている様子が見れるようになった。
- ・食育の一環としてカルピスミュージアムの見学を予定していたが申し込みが多数の為予約出来なかった。

## ②子ども会議支援グループ

令和5年6月20日 参加者：舘野、雫、桑原、後藤

### 【実施内容】

- ・子ども会議の目的や意義、進行の仕方、会議の日程などについて確認を行う。
- ・意見箱の開封担当の確認。
- ・今年子ども会議(子どもを含めた)で話し合う内容のテーマについての確認を行う。

令和5年6月23日 参加者：在園児童(小2～高1)、舘野、桑原、後藤

### 【実施内容】

- ・小2～小4…(19:40～20:00) 中高生…(20:00～20:20)に分けて研修室にて行う。
- ・子ども会議は何をする場なのか、意見箱について、子ども会議の日程について確認を行う。
- ・子どもの意見を拾う為に、用紙に意見や思っていること等を自由に記入してもらう。
- ・ゲームの時間を長くしてほしいという記述があった。

令和5年7月28日 参加者：在園児童(小2～高1)、桑原、後藤

### 【実施内容】

- ・小2～小4…(19:20～19:40) 中高生…(20:00～20:20)に分けて、研修室にて行う。
  - ・夏休み中の行事について・・・コロナの関係で昨年度までどこにも行けなかったもので、今年度は色々な行事があることを知らせる。
  - ・個人的な苦情が何件かあった為、各グループや担当に伝え話し合いをしてもらう。
- ゲームの時間について話し合う。
- ・勉強を頑張る。・日常の約束を守る。ゲームの決められた時間を守る。
  - ・貸し借りをしない。色々な約束が守れない人なゲームは駄目。(子どもの意見)
- 子どもからの意見を踏まえゲームの時間を延ばせるように運営代表者会議に提案することを伝える。

令和5年9月19日 参加者：舘野、雫、桑原、後藤

### 【実施内容】

- ・次回子ども会議の日程変更や議題の確認を行う。
- ・意見箱についてYouTubeを見たいという意見があったことを確認。
- ・ゲームについては全グループで2時間という時間が守れているかを確認し、その時間や生活の約束等も守れてから要望が叶うような仕組みにする。子ども会議で子どもと大人が話し合いその結果をもう一度、運営代表者会議に提出しその後職員会議で決定。

令和5年10月6日 参加者：在園児童(小2～高1)、舘野、後藤

### 【実施内容】

- ・小2～小4…(19:20～19:40)、中高生…20:00～20:20に分けて、研修室にて行う。
- ・以前から要望の出ていたYouTubeについて職員も検討中であることを伝える。
- ・学校からのタブレットについては、宿題での使用以外はグループで保管。個人では持っていない。
- ・ゲームの時間については、土日、祝日は3時間にする。夏休み前は各グループ約束が違ったが、夏

休みにそれを統一し守れている。今後もゲームの約束や生活の約束を守れるようにする。子ども同士声を掛け合う。約束が守れないと戻ってしまう事もあると伝える。

令和5年11月23日 参加者：在園児童（小2～高1）、桑原、後藤

【実施内容】

- ・小2～小4…(19:20～19:40)、中高生…(19:40～20:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・ディズニーランド行事の大まかな説明と約束について。
- ・その他に何か意見があるかを確認する。
- ・食事についての要望・新しい遊具が欲しい・夏の園内プールの回数を増やして欲しい

令和6年1月16日 参加者：舘野、雫、桑原、後藤

【実施内容】

- ・意見箱の内容確認
- ・食事の要望・他児への苦情→グループ、担当に報告し話し合い
- ・YouTubeの使用についてどうしていくかは、これから検討していくこととなる。

令和6年2月4日 参加者：在園児童（小2～高1）、舘野、後藤

【実施内容】

- ・小2～小4…(19:20～19:40)中高生…(19:40～20:00)分けて研修室にて行う。
- ・3月のイベントについての説明をして要望を聞く。  
BBQで食べたいものや遊びの内容が出た。係に報告。

令和6年3月6日 参加者：雫、後藤

【実施内容】 ・今年度の反省

- ・意見箱については、個人への要望や要求が多く、子ども達のストレスのはけ口となっている面があった。この点については担当職員やグループ職員に伝え解決の糸口となった。
- ・職員に対して伝えたいことを正直に書くことが出来る場であった。
- ・子ども会議については、職員が提示した内容については意見が出るが、子ども発信の意見は無かった。
- ・子どもの意見はゲームの時間や食べ物の事ばかりで、生活全体に対する要望や改善は無かった。
- ・ゲーム時間に関しては子ども達で話し合い約束を決めて、子ども達の要望を通すことが出来た。

### ③余暇支援グループ

令和5年6月20日（火）参加者：亀山 片岡 後藤（紀） 大平

【実施内容】

- 年間行事担当の確認。
- 今年度の福祉祭り 10/13 10:00～13:30 氏家体育館で行うと連絡あり。
- 今の段階での招待行事
  - ・7/31 B&G 海洋性レクリエーション体験会 9:00～12:30（後日打合せあり：亀山）

- ・ 8/10、23 那須子どもの家 体験乗馬会 9:30~15:30
- 8/10 ひだまり おおぞら Souの家 参加予定
- 8/23 そよかぜ だいち 参加予定

○用検討事項

- ・夏の園プール
- ・外の時計（防水・坊塵用）

令和5年9月19日（火）参加者：亀山 片岡 後藤（紀） 大平

【実施内容】

<園内行事>

○園内プール

- ・プレハブ倉庫に保管。
- ・三か所壊れていた。（ひびが入り割れている）補強し、来年度に引き継ぐ。

○ハロウィン

- ・各グループにて行う。
- ・衣装や飾り物は前年度までの物がある為、購入はしない。衣装・飾り物は職員室に置き、自由に使用できるようにする。9/29（金）職員会議にて、全職員に伝える。
- ・衣装の回収日は、10/31（火）までとする。
- ・お菓子等用意するのであれば、各グループで購入してもらおう。

○七五三

- ・10月1日（日）詩風・愛奈前撮り。
- ・本番当日の日時については、園長と担当の藤野指導員で決める。

<招待行事>

○10月28日（土）西那須野ロータリークラブ様より那須どうぶつ王国の招待

- ・大型バス1台（52人乗り）
- ・参加する人数は、子どもと職員は各グループで決める。

○12/1（金）～12/2（土）大人サンタ様よりディズニーランドの招待

- ・子ども：16名（小学生） ・職員：7名
- ・12月1日（金）小学生前泊。（浦安セレブレーションホテル）
- ・12月2日（土）社会体験行事として、子ども20名（幼児・中学生・高校生）ディズニーランドへ行く予定。
- ・社会体験行事としての、ディズニーランドのチケットをどのように購入するのか検討。

令和5年11月14日（火）参加者：片岡 後藤（紀） 大平

【実施内容】

<行事予定>

○12月1日（金）大人サンタ招待（小学生）

- ・15:00 園出発予定 21:00 東京ディズニーランド出発予定
- ・子どもの様子をみながら時間等臨機応変に対応していく。

- 12月2日(土) 社会体験(幼児・中学生)
    - ・出発時間や帰りの集合時間・場所等担当職員と話し合い検討する。
  - 12月10日(日) デコレーションケーキ行事
  - 12月23日(土) クリスマス会
    - ・時間：17:00～19:00
    - ・場所：各グループ
    - ・予算：25,000円(食事代+装飾代)
    - ・プレゼント：一人5,000円(送料代1,000円+包装代500円)
  - 12月28日(火) 大掃除・餅つき
  - 1月1日(金) 初詣
    - ・各グループで行う。
    - ・昼食も各グループで決めて食べる。(一人1,000円×人数分)
- <招待行事>
- 12月24日(日) ブレックス観戦招待
    - ・PM 予定。
    - ・20枚のチケットを頂ける。子どもたちに希望を確認し、人数を決める。

令和5年1月16日(火) 参加者：亀山 片岡 後藤(紀) 大平

【実施内容】

<園内行事予定>

- 1月20日(土) 宇大ものづくり
    - ・食堂にて 13:00～ ものづくり開始
  - 1月21日(日) トチノキッド
    - ・食堂にて 13:30～ 開始
  - 1月27日(土) スキー・スノーボード体験
  - 2月3日(土) 節分
    - ・各グループごとに行う。
    - ・調理場から各グループに豆を配布。
    - ・どのように豆まきを行うのか担当に確認する。
  - 3月3日(日) 桃の節句
    - ・調理場から各グループにひなあられを配布。
  - 3月3日(日) 3年生を送る会
    - ・さくら会にて BBQ を園庭で行う。
  - 3月16日(土) 卒業生を祝う会
  - 工場見学については、2月下旬に予定が決まるとのこと。
- <招待行事>
- 2月11日(日) プロレスリング ノア
    - ・余暇係の行事報告書を作成する。今年度の行事計画書・行事計画反省書を元に使用金額・反省をまとめる。
    - ・今年度の行事を一覧にまとめる。

令和5年3月6日(水)参加者: 亀山 後藤(紀) 大平

【実施内容】

<行事予定>

○3月30日(水) ボーリング招待 16:00~

○R6年 4月6日(土) きらりさくら市バスケット招待

○R6年 5月5日(日) ふれあい祭り

- ・余暇係の行事報告書を作成する。今年度の行事計画書・行事計画反省書を元に使用金額・反省をまとめる。
- ・今年度の行事を一覧にまとめる。(招待行事も含む)
- ・今年度の行事反省書を元に令和6年度年間行事一覧(案)を作成する。

<今年度の反省>

- ・ふれあいまつりは中止となったが、今年度はコロナウイルスの影響も減り、色々な配慮は行いながらたくさん行事を楽しむことが出来た。全児童参加の園行事や社会体験もあり、子どもたちの良い思い出をつくることができた。
- ・小規模職員も子どもたちと共に一緒に行事に参加してもらい、楽しみを共有していくことができた。
- ・招待行事でもたくさん声をかけていただき、貴重な体験をさせてもらうことができた。

④生活支援グループ

竹石朋浩 小林秀和 大塩菜月 久郷則夫

第1回(6月20日)参加者 竹石 小林 大塩

○今年度に活動内容の確認。

- ・昨年度からの活動を引き続き実施し、ゴミステーションの掃除、各ボックスの清掃を行う。
- ・子ども玄関の掃除及び整理整頓を月に2回程度実施する。
- ・管理棟から男子棟への廊下及びミーテングの掃除を男子棟の職員で行い、ミーティングルーム入り口から女子棟の入り口の廊下を女子棟の職員で行うようにする。
- ・引き続き継続して{起きたらすること}のラミネートの活用するように各グループに促す。
- ・点検箇所等の確認

第2回(9月19日)参加者 竹石 小林 大塩 久郷

- ・火曜日と金曜日のゴミステーションの清掃を久郷さんがいる時はお願いする。
- ・ゴミステーションの清掃及びボックスの掃除
- ・子ども玄関の掃除と整理整頓

第3回(11月14日)参加者 竹石 久郷 芳村 大塩

- ・久郷さんが時間の空いている時に定期的にゴミステーションの掃除を行う。
- ・ゴミステーションの掃除と整理整頓
- ・子ども玄関の虫かごの整理と整頓



#### 第4回（1月16日） 参加者 竹石 小林 久郷

- ・ゴミステーションの清掃
- ・年度末に向けての清掃及び修繕個所の確認
- ・10月 6日 ゴミステーションの清掃
- ・11月22日 ミーティングルームの窓拭き、食堂の窓拭き、駐車場の落ち葉拾い
- ・12月11日 子ども玄関の清掃
- ・12月18日 ミーティングルームの清掃、職員玄関の清掃、子ども玄関の清掃

#### 第5回（3月6日） 参加者 竹石 小林 大塩 久郷

- ・1月31日 食堂東側の窓拭き、グループ間の通路とミーティングルームと子ども玄関のモップ掛け、子ども玄関の掃き掃除
- ・2月5日 管理棟から職員室の通路のモップ掛け及び窓拭き、食堂のピアノの後ろと下の掃除
- ・2月24日 食堂の窓拭き（幼稚園側） 管理棟からグループへの通路の窓拭き
- ・2月28日 各グループの前の床、子ども玄関、ミーティングルームのモップ掛け、子ども玄関の掃き掃除

#### ○今年度の反省

- ・ごみステーションの清掃を火曜日と金曜日の午後にやるように決めていたが、なかなか手が回らず出来なかった。
- ・支援グループ会議の時など皆で集まれる時に清掃は出来ていたが、主に久郷さんが清掃をしていた。
- ・重点目標については、次年度に継続する物や新しく加えるものを検討する。
- ・子ども玄関の大掃除も手が回らず、数回程度しか出来なかった。

#### <日常業務>

- ・本棚の整頓等を行い、子ども達が生活しやすい空間づくりに努める。

#### <通年業務>

- ・職員玄関、子ども玄関の清掃
- ・職員、子どもの傘立ての確認
- ・ミーティングルームの本棚の整理整頓
- ・ゴミステーションの清掃

#### ⑤研修グループ

- ・被措置児童虐待防止研修（10月17日、12月13日）
- ・性教育研修（7月18日、2月13日、3月6日）
- ・総合避難訓練と煙体験（3月27日）
- ・人権擁護、人権侵害防止の為のチェックリスト（6月、9月、2月）
- ・児童養護施設における人権擁護の為のチェックリスト（3月）

#### 10. 総括

子どもの権利擁護取組について、子ども会議が不満のはげ口（ガス抜き）としての機能は果た

しているものの、子どもの意見を反映した施設運営、さらには子どもが主体的に生活を考え改善していこうまでには至っておらず、権利擁護の推進にさらに取り組んでいきたい。また、第三者評価の結果を踏まえ、運営代表者会議のメンバーによる施設運営改善グループを設置し、改善計画を策定し逐次改善に取り組んでいきたい。

子どものケアについて、子ども間のトラブルは減ってはいるものの、性的な問題等も払拭されているわけではない。自己領域の確保について「ありのままの自分でいられる」ことを念頭に置き、職員研修の充実を図ることで職員の意識を高めていきたい。

地域子育て支援については、令和6年度から2年間、本園食堂を学童保育で利用することとなった。新築される学童保育センターや児童センターを隣接する本園は、今後さくら市の子育て支援の中核をなす社会資源となっていく可能性がある。今後さらにさくら市と連携を密にして地域子育て支援に取り組んでいきたい。

4月に改正児童福祉法が施行され、社会的養護は激動期に突入した。里親委託の推進、施設の地域分散化及び高機能化、地域子育て支援への参画など、これまでの取り組みをさらに強化し、本園が地域ひいては社会にとってなくてはならない施設となることを目指していきたい。

令和5年度

南小学童保育センター  
事業報告書

社会福祉法人 養徳園  
氏家養護園

令和5年度 南小学童保育センター年間行事報告

1.活動のねらい

1. 安全と安心を第一目的とし、心休まるアットホームな居場所を提供する。
2. 家庭との連携をはかり、不測の事態に的確に対応できるよう努める。
3. 老人会やボランティア団体等と連携をし、地域の中で豊かな心身を育む。
4. 学童給食を実施し子育て支援に取り組む。

2.在籍児童数 令和5. 4. 1現在186名

		男	女	計
1年	B	17	11	28
1年	F	17	11	28
3年	A	17	19	36
2年	E	17	25	42
4年	C	11	13	24
6年	C		5	5
5年	D	12	11	23
		91	95	186

3. 主な行事 ①1・2年生(A・B・F センター)

(参加人数)

主な行事	月日	A	B	F	主な行事	月日	A	B	F
鯉のぼり製作	4/26	30	28	25	敬老の日プレゼント製作	9/12	32	25	23
誕生会	4/28	33	25	25	ハロウィンリース製作	10/10	21	17	18
母の日カード製作	5/2	18	22	25	ハロウィンパーティー	10/25	30	27	22
誕生会	5/30	30	25	24	誕生会	10/30	27	23	32
父の日カード製作	6/2	32	24	23	誕生会	11/30	30	24	23
誕生会	6/30	34	25	26	避難訓練	12/1	31	22	21
七夕飾り製作	6/26	30	21	26	クリスマス飾り製作	12/7	30	23	25
誕生会	7/20	32	24	24	クリスマス飾り製作	12/7	30	23	25
工作教室	7/24	24	18	20	Xmas会	12/18	29	20	23
折り紙教室	7/27	25	21	18	お誕生会	12/22	32	21	24
工作教室	7/31	24	19	16	季節の工作(鬼のコップ)	2/1	32	24	24
ミニ夏祭り	8/1	26	19	19	誕生会	1/30	28	23	26
工作教室	8/7	24	17	14	誕生会	2/28	30	22	24
工作教室	8/17	15	13	15	雛祭り	3/1	33	25	23
工作教室	8/21	28	19	16	お楽しみ会	3/6	30	21	20
誕生会	8/23	30	20	19	誕生会	3/13	30	24	26

主な行事 ②2年生(E分室)

主な行事	月日	E	主な行事	月日	E
鯉のぼり製作	4/26	26	ハロウィンお面製作	10/23	13
誕生会	4/28	41	誕生会	10/30	38
母の日カード製作	5/1	33	ハロウィンパーティー	10/25	37
誕生会	5/30	41	誕生会	11/30	37
父の日カード製作	6/2	41	避難訓練	12/13	23
誕生会	6/30	39	クリスマス飾り製作	12/13	33
七夕飾り製作	6/26	41	Xmas会	12/18	35
誕生会	7/20	36	お誕生会	12/22	37
工作教室	7/24	30	絵馬・こま製作	12/27	27
工作教室	8/1	26	誕生会	1/30	31
工作教室	8/7	28	節分のお祝い	2/1	30
ミニ夏祭り	8/8	32	誕生会	2/28	36
誕生会	8/23	30	雑祭り	3/1	38
敬老の日プレゼント製作	9/12	41	お楽しみ会	3/6	36
			誕生会	3/13	35

③4～6年生(C・D プール棟)

主な行事	月日	C	D	主な行事	月日	C	D
鯉のぼり製作	4/25	22	16	敬老の日プレゼント製作	9/11	16	15
誕生会	4/28	23	15	誕生会	9/29	21	14
母の日カード製作	5/1	19	12	ハロウィンお面製作	10/20	24	10
誕生会	5/30	19	14	ハロウィンパーティー	10/25	17	13
父の日カード製作	6/5	21	14	誕生会	10/30	16	15
誕生会	6/30	23	18	誕生会	11/30	17	13
七夕飾り製作	6/26	21	16	避難訓練	12/4	21	12
誕生会	6/30	23	18	クリスマス飾り製作	12/14	23	12
誕生会	7/19	22	15	Xmas会	12/12	23	12
工作教室	7/25	13	18	お誕生会	12/21	2	7
工作教室	8/1	19	18	絵馬・こま製作	1/6	10	3
ミニ夏祭り	8/8	21	18	節分の製作	1/6	31	18
折り紙教室	8/10	17	12	誕生会	1/31	22	10
工作教室	8/22	20	16	節分のお祝い	2/3	22	8
お楽しみ会	8/23	17	16	誕生会	2/28	22	9
誕生会	8/31	22	13	6年生を送る会	3/5	21	12
				誕生会	3/13	19	10

④ 学童給食の実施 10月23日(運動会振替休日) 12月26日(冬休み) 3月28日(春休み)

## 5. 施設・備品の購入修繕状況

センター冷蔵庫購入	R5.4.17	クラスが1つ増えたため
流し台水栓交換取付	R5.6.2	
学童センター長室シリンダー交換	R5.6.9	児童がクリップを詰まらせたため
学童センター長室鍵詰まり修繕	R5.6.26	児童が鉛筆の芯を詰まらせたため

## 6. 施設の維持管理に必要な業務委託の実施状況

業務委託の内容	契約日	実施日	委託金額	委託業者名	備考
令和5年度分検査		R5.5.15	69,300	関東電気保安協会	
屋根の軒桶清掃		R5.6.6	55,000	荒巻組	
スクリレオプション 2023年5月1日～2024年4月30日		R5.6.15	89,100	システム興産	
ウイルスバスターセキュリティ 2023年4月～2024年3月			14,256		
消防器具総合点検		R5.8.15	29,700	栃木防災(株)	
		R5.12.15	13,200		
草むしり		R5.9.13	21,375	シルバー人材センター	
フロンガス排出抑制法に伴う点検		R5.8.9	166,650	(株)日本ビルメン	
学童センター内清掃 プール棟内清掃 新築棟内清掃		R5.8.15	63,000	(株)日本ビルメン	
			35,000		
			45,000		
			税14,300		
学童センター内清掃 プール棟内清掃 新築棟内清掃 エアコン内分解清掃		R6.2.15	63,000	(株)日本ビルメン	
			35,000		
			45,000		
			税14,300		
			155,100		
玄関マット・モップ 6カ所分		R6.3.15	78,540	ユニオン化学(株)	
AED・セコム	R4.1.11		12,188	セコム(株)	
コピーリース	R5.12.25		7,920	システム興産(株)	
児童クラブ共済制度	R5.4.1	R5.4.1～R6.4.1	364,000	一般財団法人 児童健全育成推進	

## R5管理業務体制

### 1. 職員の管理体制

センター長	福田 敦子	常勤
学童保育支援員	小室 みず江	常勤
学童保育支援員	中山 智子	常勤
学童保育支援員	小堀 久美子	常勤
学童保育支援員	荒川 秀美	常勤
学童保育支援員	中村 洋子	常勤
学童保育支援員	柏木 広子	常勤
学童保育支援員	見目 和枝	常勤
学童保育支援員	菊池 千晴	常勤
学童保育支援員	大根田枝里子	常勤
学童保育支援員	福嶋通子	常勤
学童保育支援員	黒尾 マリ子	補助員
学童保育支援員	福田 三江子	補助員
学童保育支援員	中山 幸夫	補助員
学童保育支援員	佐々木 百代	補助員
学童保育支援員	半田 美紀子	補助員
学童保育支援員	手塚 春美	補助員

### 2. 業務の委託計画

区分	
警備業務	セコム株式会社
館内清掃業務(床・窓・エアコンフィルター)	(株)日本ビルメン
電気設備点検	関東電気保安協会
消防用設備保守点検	栃木防災株式会社
館内日常清掃	職員

令和5年度

南っ子食堂  
事業報告書

社会福祉法人 養徳園  
氏家養護園



令和5年度 南っ子食堂事業報告書

団 体	所在地	さくら市氏家 1060
	(フリガナ) 名称	みなみっこしょくどう 南っ子食堂
代表者	住所	〒329-1493 さくら市喜連川 1025
	氏名	理事長 福田 雅章
	電話	028-686-2239
年間実施回数	17回(11月から開始)	
実施場所	氏家養護園 (部屋名：食堂 )	
延べ参加者数	395人(子ども： 189人・大人 206人)	
延べ従事者数	53人(1回あたり平均 3.1人)	

参加者等の状況

(人：延べ人数)

	実施回数(回)	子ども(人)	大人(人)	従事者(人)		実施回数(回)	子ども(人)	大人(人)	従事者(人)
4月		( )	( )		10月		( )	( )	人
5月		( )	( )		11月	3	(18人)	(19人)	37人
6月	6	( )	( )	人	12月	4	(39人)	(49人)	88人
7月	8	( )	( )	人	1月	3	(38人)	(44人)	82人
8月	7	( )	( )	人	2月	3	(41人)	(42人)	83人
9月	8	( )	( )	人	3月	4	(53人)	(52人)	105人
					合計	17	(189人)	(206人)	395人

実施日

	実施回数	実施日詳細
4月	回	
5月	回	
6月	回	
7月	回	
8月	回	
9月	回	
10月	回	
11月	3回	11/10, 11/17, 11/24
12月	4回	12/1, 12/8, 12/15, 12/22
1月	3回	1/12, 1/19, 1/26
2月	3回	2/2, 2/9, 2/16
3月	4回	3/1, 3/8, 3/15, 3/29

合計 17回 開催

実施状況

<p>遊び・交流、見守りの主な実施方法</p>	<p>法人職員とボランティアスタッフ（保育士・主任児童委員）が協力して食事の提供を行う。家族同士、地域の人同士と一緒に食事をとることで交流ができるように適宜会話に入ったり、遊びの提供をおこなう。子育ての相談にも応ずる。</p>	
<p>食事の提供 実施した場合のみ記入</p>	<p>メニュー実績 (主なもの)</p>	<p>安価で栄養バランスのとれた食事の提供、メニューも和・洋・中とバラエティー豊か ・米飯・和風おろしハンバーグ・トマトとブロッコリーのイタリアンドレッシング和え ・スープ等</p>
	<p>食材調達の手段</p>	<p><input type="checkbox"/> 寄付 <input type="checkbox"/> フードバンク <input type="checkbox"/> 市補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 法人の調達的手段に準ずる</p>
<p>学習支援の主な実施方法 実施した場合のみ記入</p>		
<p>悩みや相談への対応状況</p>	<p>地域の児童福祉を専門に子育てや子どもに関することを担当している主任児童委員さんがボランティアで協力してくださっている。また、保育士、ファミリーソーシャルワーカーもいるのでなにげない会話から保護者の困り感に気づき相談につながっている。</p>	
<p>従事者が察した子ども（親子）が置かれている困難な状況、気になる子どもの言動や態度等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経済的な問題</li> <li>・地域とのつながりがない</li> <li>・子どもの学校へのいきしぶり</li> <li>・保護者の学校や学童クラブへの不満</li> <li>・食物の好き嫌いや偏食</li> <li>・母親の育児疲れ</li> <li>・子どものトラブルと保護者間のトラブル</li> </ul>	
<p>事業の効果、今後の課題等</p>	<p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回を重ねるごとに利用者も増え、常連さんも増えた</li> <li>・顔見知りができ、家族同士の交流ができてきた</li> <li>・よその家族の子育ての仕方、子どもへの声のかけ方、関わり合い方を見る機会となり、自身の子育てを振り返る機会となっている</li> <li>・ボランティアスタッフ、職員が利用者と保護者との信頼関係を構築することができた</li> <li>・「食べる」ことを通じて家族に話題と時間が共有される</li> <li>・安価で食べられるので社会的弱者（高齢者、シングルマザー、経済的に不安を抱えている家族、小さいお子さんがいる家庭</li> </ul>	

	<p>等) が利用しやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事が終わってもものんびり遊んでいく家族が増えた</li> <li>・高齢者(近所の独居老人の方)が利用するようになったので見守りもあわせてできる</li> <li>・保護者の家事負担の軽減になっている</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの充実とさらに一步踏み込んだ支援の展開</li> <li>・ボランティアスタッフが継続して関われる体制作り</li> <li>・本当に来てもらいたい父子家庭、母子家庭、子育てに困り感を抱えている家庭へのアプローチ</li> <li>・高齢者の利用増加に伴って地域食堂としての役割の充実</li> </ul>
--	--

令和5年度

南っ子ひろば  
事業報告書

社会福祉法人 養徳園  
氏家養護園

令和5年度 子どもの居場所づくり事業報告書

団 体	所在地	さくら市喜連川 1025
	(フリガナ) 名称	みなみっこひろば 南っ子ひろば
代表者	住所	〒329-1493 さくら市喜連川 1025
	氏名	理事長 福田 雅章
	電話	028-686-2239
年間実施回数	72 回	
実施場所	南小学童保育センター (部屋名: Bクラス )	
延べ参加者数	79 人 (子ども: 60 人・大人 19 人)	
延べ従事者数	179 人 (1 回あたり平均 2.5 人)	

参加者等の状況

(人: 延べ人数)

	実施回数 (回)	子ども (人)	大人 (人)	従事者 (人)		実施回数 (回)	子ども (人)	大人 (人)	従事者 (人)
4 月		( )	( )		10 月	8	(6 人)	(1 人)	23 人
5 月		( )	( )		11 月	8	(3 人)	(1 人)	20 人
6 月	6	(7 人)	(3 人)	18 人	12 月	7	(4 人)	(0 人)	20 人
7 月	8	(12 人)	(3 人)	20 人	1 月	7	(4 人)	(3 人)	15 人
8 月	7	(10 人)	(4 人)	21 人	2 月	7	(0 人)	(0 人)	7 人
9 月	8	(14 人)	(4 人)	23 人	3 月	6	(0 人)	(0 人)	11 人
					合計	72	(60 人)	(19 人)	179 人

実施状況

遊び・交流、見守りの主な実施方法	法人職員とボランティアスタッフで無理強いをせず子どもたちがしたいことを優先させ安心して過ごせるように心がけてきた。ボードゲームやカードゲームを取り入れコミュニケーションを図りながら交流を深めた。	
食事の提供 実施した場合のみ 記入	メニュー実績 (主なもの)	
	食材調達の手段	<input type="checkbox"/> 寄付 <input type="checkbox"/> フードバンク <input type="checkbox"/> 市補助金 <input type="checkbox"/> その他
学習支援の主な実施方法 実施した場合のみ 記入	法人職員とボランティアスタッフで、子ども達の習熟度を考慮しながら、問題集を使用しプリント学習を行ったり、スマホアプリを利用して英単語を覚えるなど楽しく学びながら本人の負担にならない程度の学習を実施した。	
悩みや相談への対応状況	教育相談や子育て相談の経験ある職員が保護者の不登校に関する悩みや、子育ての困り感などの悩みに対応してきた。必要な時は医療機関、学校などにつないだ。	
従事者が察した子ども(親子)が置かれている困難な状況、気になる子どもの言動や態度等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経済的な問題</li> <li>・地域社会からの孤立</li> <li>・子どもの学校への嫌悪感とトラウマ</li> <li>・保護者の学校への不信感や不満</li> <li>・リストカット</li> </ul>	
事業の効果、今後の課題等	<p>&lt;効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら市の行政機関、学校と情報の共有ができた</li> <li>・利用者が利用したいときに気軽に利用できる雰囲気が出てきた(利用のためのハードルが低い)</li> <li>・ボランティアスタッフ、職員が利用者と保護者との信頼関係を構築することができた</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの充実とさらに一歩踏み込んだ支援の展開</li> <li>・ボランティアスタッフが継続して関わられる体制作り</li> <li>・体験学習の充実</li> </ul>	

実施日

	実施回数	実施日詳細
4月	回	
5月	回	
6月	6回	6/14, 6/16, 6/21, 6/23, 6/28, 6/30
7月	8回	7/5, 7/7, 7/12, 7/14, 7/19, 7/21, 7/26, 7/28
8月	7回	8/2, 8/4, 8/9, 8/18, 8/23, 8/25, 8/30
9月	8回	9/1, 9/8, 9/13, 9/15, 9/20, 9/22, 9/27, 9/29
10月	8回	10/4, 10/6, 10/11, 10/13, 10/18, 10/20, 10/25, 10/27
11月	8回	11/1, 11/8, 11/10, 11/15, 11/17, 11/22, 11/24, 11/29
12月	7回	12/1, 12/6, 12/8, 12/13, 12/15, 12/20, 12/22
1月	7回	1/10, 1/12, 1/17, 1/19, 1/24, 1/26, 1/31
2月	7回	2/2, 2/7, 2/9, 2/14, 2/16, 2/21, 2/28
3月	6回	3/1, 3/6, 3/8, 3/13, 3/15, 3/22

合計 72回 開催